

PAGESBOX **PAGESBOX Plus**

ユーザーズマニュアル

第4.2版 2025年7月

- 本書はそれぞれのOSにあわせて注意深く用意してはおりますが、将来バージョンアップやOSに変更のあった場合など、パソコンのモニターに実際に表示される表現と差異が出る可能性があります。ご了承ください。
- 本書に記載された仕様、その他については改良のため変更することがあります。
- 本プリンターの「ラベルコマンドモード」で使用している日本語用アウトラインフォントは、「株式会社リコー」とのライセンス契約に基づき「リョービ株式会社」の字母をもとに製作されたものです。
- IBMはIBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- UNIXはThe Open Groupがライセンスしている米国および他の国における登録商標です。
- LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright JBCC Corporation 2017-2025.

安全に正しくお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくために安全表示が記述されています。このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるようお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

絵表示について

このマニュアルおよび製品への安全表示については、製品を正しく使用し、危害や損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。

絵表示とその意味は次のとおりです。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険／注意ラベルの表示について

この製品の外部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全に関しての危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

このマニュアルに記述されている以外に、製品上に危険または注意ラベルによる表示がある場合は、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

危険

- 本製品には、必ず付属のACアダプターを使用してください。他製品向けのACアダプターを使用した場合、故障の原因となるだけでなく、火災、感電を引き起こす恐れがあります。また、本製品付属のACアダプターを他の製品に使用しないでください。同様に火災、感電を引き起こす恐れがあります。
- 本製品の本体カバーを開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- 本製品を改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 本製品の電源は、AC100V（50/60Hz）を使用してください。異なる電圧で使用すると、火災、発煙、感電の恐れがあります。
- 付属のACアダプターやその他のコネクター部分を濡らさないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招く恐れがあります。濡れた手で付属のACアダプターを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また電源コードに物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電の恐れがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。付属のACアダプターをコンセントから抜いて、販売店または弊社お客様相談センターにご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社お客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。

注意

- ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります（必ずプラグを持って抜いてください）。
- 使用環境については、付録「仕様一覧」をご覧ください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 通電時は、付属のACアダプターを布等で包まないでください。
- 本製品の近く（20 cm以内）で携帯電話やPHS（簡易携帯電話）を使用しないでください。本製品の仕様でない動作（誤動作）をする原因となることがあります。
- 本製品の上に物を載せないでください。ケースが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
- ケーブルやコネクターを取り付け/取り外しする場合には、付属のACアダプターのプラグをACコンセントから抜いてください。付属のACアダプターがACコンセントに接続されたまま、ケーブルやコネクターを取り付け/取り外しすると、感電の原因となります。
- 連休などで長時間使わないときは、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

はじめに

本書は、PAGESBOX、PAGESBOX Plusの使用方法について説明します。本書は、本製品を設置する導入担当者および操作員の方々を対象にしております。

本書は次のように構成されています。

第1章 『PAGESBOXについて』

PAGESBOXの動作環境や概要、ネットワークへの接続方法について説明します。

第2章 『基本操作について』

ユーティリティソフトウェアの概要、各OS環境での使用方法、及びWebからの設定方法について説明しています。

第3章 『PAGES設定について』

PAGES設定や、トレイ／用紙に関する設定、ラベルコマンドの設定について説明しています。

第4章 『ネットワークに関する設定について』

ネットワークの詳細な設定を行う方法について説明しています。

第5章 『保守メニュー』（Z7105PJ0/Z7105PJ5のみ）

各種設定の読込／登録を行う方法について説明しています。

第6章 『メッセージ集』

PAGESBOXのWebページに表示されるメッセージがまとめられています。

第7章 『ご使用上の注意点』

本製品を使用する上で従来機種との相違点を中心に説明します。

第8章 『Q&A』

想定される問題とその解決方法について説明しています。

また、第1章から第8章までの補足情報として、次の付録を用意しています。

付録A 『PAGESBOX 仕様一覧』

関連マニュアル

本体の設定、およびネットワークに関する設定を行う場合には、次のマニュアルを必要に応じて参照してください。

- TN5250E機能設定ガイド（PAGESBOX Plus用）
- フォーム・オーバーレイ プログラム for Windowsユーザーズ・ガイド
- PowerLaserシリーズ／ PAGESBOX ラベルコマンド・リファレンス



重要

使用環境によっては、以下で説明している導入手順と異なる場合があります。

本製品の最新情報

弊社ホームページでは下記のサービスがご利用になれます。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

弊社ホームページ (<https://jbsol.jbcc.co.jp/>)

- 最新ファームウェアのダウンロード
PAGESBOX本体ファームウェア更新機能はZ7105PJ0/Z7105PJ5のみとなります。
- 最新プリンタードライバーのダウンロード
- 最新設定ツールのダウンロード
- 最新マニュアルのダウンロード
- サポート情報 (FAQ)
- 新製品情報
- その他

目次

安全に正しくお使いいただくために	II
絵表示について	ii
危険／注意ラベルの表示について	ii
はじめに	IV
関連マニュアル	IV
本製品の最新情報	V
第1章 本製品について	1-1
本製品の特長	1-1
動作環境	1-1
機器の説明	1-2
各部の名称と働き	1-2
テストスイッチの操作	1-4
取り付け方法	1-5
本製品を取り付ける	1-5
ネットワークに接続する	1-6
プリンターの設定をする	1-7
第2章 基本操作	2-1
Windows環境で使用する	2-1
Windows環境からTCP/IPで印刷する	2-1
ユーティリティソフトウェアを使用する	2-4
Standard TCP/IPポートで印刷する	2-6
LPRポートで印刷する	2-11
UNIX/LINUX環境で使用する	2-13
ARPを使用したIPアドレスの設定	2-14
hostsファイルの設定	2-15
LPDを使用した印刷	2-16
FTPを使用した印刷	2-17
本製品のWEBページを表示する	2-21
ATPS ManagerからWebページを表示する	2-21
WebブラウザからWebページを表示する	2-21
本製品をWebページから設定する	2-22
設定値を印刷する	2-24
設定値印刷の印刷方法	2-24
設定値印刷例	2-25
第3章 印刷条件（PAGES）の設定	3-1
印刷条件を設定する	3-1
印刷条件の設定項目	3-2
PAGES共通設定	3-2

トレイ設定	3-7
ラベルコマンド	3-9
第4章 ネットワークに関する設定	4-1
ATPS Managerで設定する	4-1
ATPS Managerで本製品を検索する	4-2
ATPS Managerの機能	4-4
プリント・サーバーの設定	4-6
WEBブラウザで設定する	4-9
Webブラウザからプリントサーバー機能の画面を表示する	4-9
一般設定	4-10
TCP/IP設定	4-11
論理ポート	4-13
第5章 保守メニュー (Z7105PJ0/Z7105PJ5のみ)	5-1
設定ファイルの登録/読込	5-1
設定ファイルの項目	5-2
設定ファイルの登録	5-5
外字データ/フォームデータの登録	5-6
第6章 メッセージ集	6-1
第7章 ご使用上の注意点	7-1
従来機種との相違点	7-1
PAGESコマンドのサポートについて	7-3
その他注意点	7-3
第8章 Q&A	8-1
導入時の問題	8-1
印刷時の問題	8-5
Windows TCP/IP環境での問題	8-6
付録A PAGESBOX 仕様一覧	付-1
ハードウェア仕様	付-1
ソフトウェア仕様	付-1

第1章 本製品について

本章では、製品の動作環境や概要、ネットワークへの接続方法について説明します。

本製品の特長

- PAGES機能搭載

ホスト印刷で実績のあるページ記述言語PAGESしている本製品は、信頼と実績を培ってきた558X系/PowerLaserシリーズ系のPCレーザー・プリンターの印刷環境からの移行が容易で、お客様のこれまでの投資を無駄にすることなくご活用いただけます。

また、1次元バーコードに加え、その数百倍の情報を所持させることが可能な2次元バーコードの印刷にも対応しています。

- 10BASE-T、100BASE-TX対応（自動認識）

- 製品の詳細設定はWebブラウザからの設定

- 総合ユーティリティ「ATPS Manager」標準添付

- セキュリティ対策追加

ネットワーク・プリンターのセキュリティ対策として、IPフィルター機能を搭載しています。IPアドレスレベルで本製品へのアクセスを制限する機能です。特定範囲のIPアドレスからのアクセスを禁止、または特定範囲のIPアドレスのみのアクセスを許可することでプリンターを予期せぬアクセスから保護します。

- IBMホスト（System-i）と直接接続が可能（PAGESBOX Plusのみ）

動作環境

- 対応プリンター

Z7100PJ0/Z7100PJ5

 RICOH SP6420, SP6410

Z7101PJ0/Z7101PJ5

 RICOH SP6420, SP6410

 RICOH P 6020, P 6010, P 6000

Z7105PJ0/Z7105PJ5

 RICOH SP6420, SP6410

 RICOH P 6020, P 6010, P 6000

 RICOH P 6520, P 6510, P 6500

- ネットワークに接続するために必要な機器

ネットワークケーブル（100BASE-TX環境ではカテゴリ-5以上）

- 対応プロトコル/対応OS

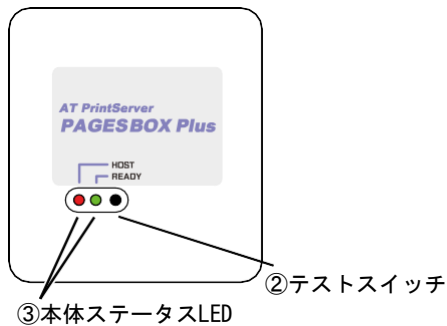
対応プロトコル：TCP/IP、TN5250E（PAGESBOX Plusのみ）

対応OS ：Windows（詳細はJBCCホームページ記載）、UNIX、Linux

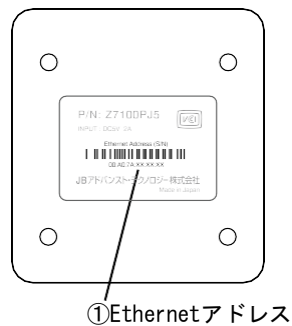
機器の説明

各部の名称と働き

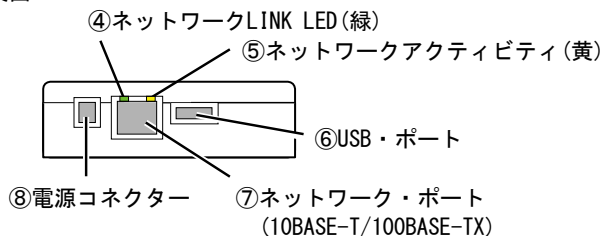
表面



裏面



後面



① Ethernetアドレス

本製品のEthernetアドレスです。製品番号（シリアルNo）も同じ番号になります。

例）Ethernetアドレス 00:A0:7A:07:00:01の場合、製品番号（シリアルNo）は 00A07A070001となります。

② テストスイッチ

スイッチを操作することで、本製品の工場出荷設定および設定値印刷を行うことができます。

工場出荷値設定に戻す：

1. 本製品の電源が入っている状態で、テストスイッチを5秒以上押して離す
（本体ステータスLEDの赤ランプが速い点滅）
2. 再びテストスイッチを5秒以上押して離す

本製品の設定値を印刷する：

1. 本製品の電源が入っている状態で、テストスイッチを2秒以上押して離す
（本体ステータスLEDの赤ランプが遅い点滅）
2. 再びテストスイッチを押して離す

③ 本体ステータス LED（表面の緑ランプ赤ランプ）

製品の表面のLEDにより、本製品の状態を表示します。

本体ステータス	緑ランプ	赤ランプ	意味
共通項目			
ハードウェア起動中	点灯	点灯	電源オン直後の状態
システム初期化中	点滅	点滅	電源オン直後、ハードウェア起動後のシステム初期化中の状態
エラー	点滅	点滅	エラー発生状態 ・未サポートプリンタ接続時 ・SDカード不良 ・ファーム更新の失敗
ファームウェア更新	点灯	点滅	ファームウェア更新中の状態
設定値印刷（モード移行）	点滅	点灯	テストスイッチ押下待ち
設定値印刷（印刷中）	点滅	点滅（高速）	印刷中 印刷完了すると再起動
TN5250接続あり			
TN5250接続アイドル	点灯	点灯	TN5250Eセッション確立中
処理中	点滅	点灯	・データ受信中 ・処理中 ・プリンタデータ転送中
TN5250接続なし			
アイドル	点灯	消灯	アイドル状態
処理中	点滅	消灯	・データ受信中 ・処理中 ・プリンタデータ転送中

④ ネットワークLINK LED（緑）

LANケーブルが接続されており、10BASE-Tまたは100BASE-TXのリンクが確立されると、点灯します。

⑤ ネットワークアクティビティLED（黄） 通信中は、点灯または点滅します。

⑥ USB・ポート（プリンター接続用）

プリンターに接続するために、付属のUSBケーブルを接続します。

⑦ ネットワーク・ポート（10BASE-T/100BASE-TX自動認識）

ネットワーク・ケーブルを接続します（100BASE-TX環境では、カテゴリー5以上）。

⑧ 電源コネクター

ACアダプターを接続します。

テストスイッチの操作

工場出荷時設定に戻す

1. 本製品の電源が入っている状態で、テストスイッチを5秒以上押してから、離します。
2. 本体ステータス LEDの赤ランプが、速い点滅をしていることを確認し、再びテストスイッチを5 秒以上押しから離します。

設定内容の印刷を行う

1. 本製品の電源が入っている状態で、テストスイッチを2秒以上押してから、離します。
2. 本体ステータス LEDの赤ランプが、ゆっくり点滅をしていることを確認し、再びテストスイッチを押して離します。
LEDの緑ランプが点滅し、設定内容の印刷が開始されます。
3. 印刷後は自動的に本製品は再起動を開始し、アイドル状態になります。

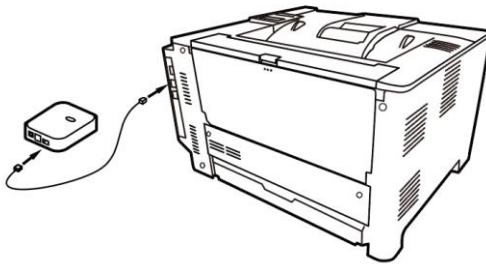
取り付け方法

本製品を取り付ける



本製品を取り付ける前に、必ず使用するプリンターの「取扱説明書」を確認してください。
本製品を一度でも他のネットワークで利用した場合は、必ず「工場出荷時設定に戻す」作業を行ってください。

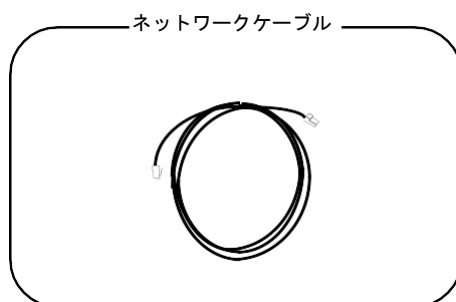
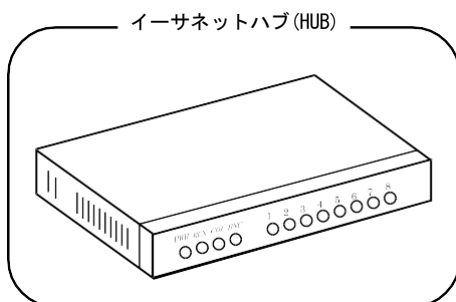
1. プリンター本体の電源をOFFにし、電源コードを外した後、プリンターのUSBポートに付属のUSBケーブルを使用して、本製品を接続します。



2. 本製品にACアダプターが接続されていないことを確認します。

ネットワークに接続する

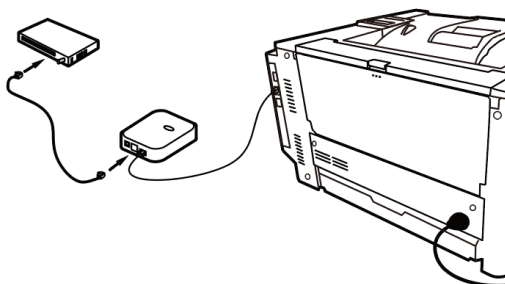
本製品をネットワークに接続するために、以下のものを準備してください。



100BASE-TX環境で使用する場合は、100BASE-TX対応のイーサネットハブ（HUB）とネットワークケーブル（カテゴリ-5以上）をご用意ください。

ネットワークへの接続方法

1. 本製品にACアダプターが接続されていないことを確認し、プリンターの電源をOFFにします。
2. 本製品のネットワークポート（10BASE-T/100BASE-TX）にネットワークケーブルを接続します。
3. イーサネットハブ（HUB）に、ネットワークケーブルのもう一方を接続します。



4. 本製品にACアダプターを接続して、プリンターの電源をONにします。
プリンターが正常に起動することを確認します。



危険

本製品には、必ず付属のACアダプターを使用してください。

他製品向けのACアダプターを使用した場合、故障の原因となるだけでなく、火災、感電を引き起こす恐れがあります。

プリンターの設定をする

本製品を使用する前にプリンター設定の変更が必要です。

プリンターの増設給紙トレイの設定

1. 増設給紙トレイの設置は必ずプリンター本体のマニュアルを参照して設置してください。
2. 増設した給紙トレイ情報は、必ずPAGESBOX側のPAGES設定で正しく設定してください。設定方法は第2章・第3章を参照してください。

用紙の設定

1. 使用する用紙は、縦置き／横置き混在しないように用紙のセット方法を決めてください。



自動トレイ選択の対象とするトレイについては用紙の置き方（縦置き／横置き）は統一して下さい。統一しなかった場合、意図したトレイ切替が行われなかったり、意図した印刷結果にならない場合があります。

2. 用紙をセットする給紙トレイを決めたらプリンター本体のマニュアルを参照して正しく用紙をセットしてください。用紙サイズダイヤルを忘れないようにセットしてください。
3. 給紙トレイ（用紙）情報を必ずPAGESBOX側でも設定してください。設定方法は第2章・第3章を参照してください。

RPDL白紙排紙の設定

1. 事前にエミュレーションはRPDL を選択しておく必要があります。

[補助メニュー] — [エミュレーション呼び出し] — [RPDL]

2. 下記の手順に従い変更してください。設定方法の詳細はプリンター本体のマニュアルを参照してください。

[メニュー] - [印刷設定] - [システム設定 (EM)] - [白紙排紙] - [する]

以上で本製品の取り付けが完了です。

第2章 基本操作

本章では、Windows環境で本製品を接続して、TCP/IPで印刷、及びユーティリティを使用する方法や、

UNIX/Linux環境で使用するために必要な設定と、LPDおよびFTPによる印刷について説明します。

Windows環境で使用する

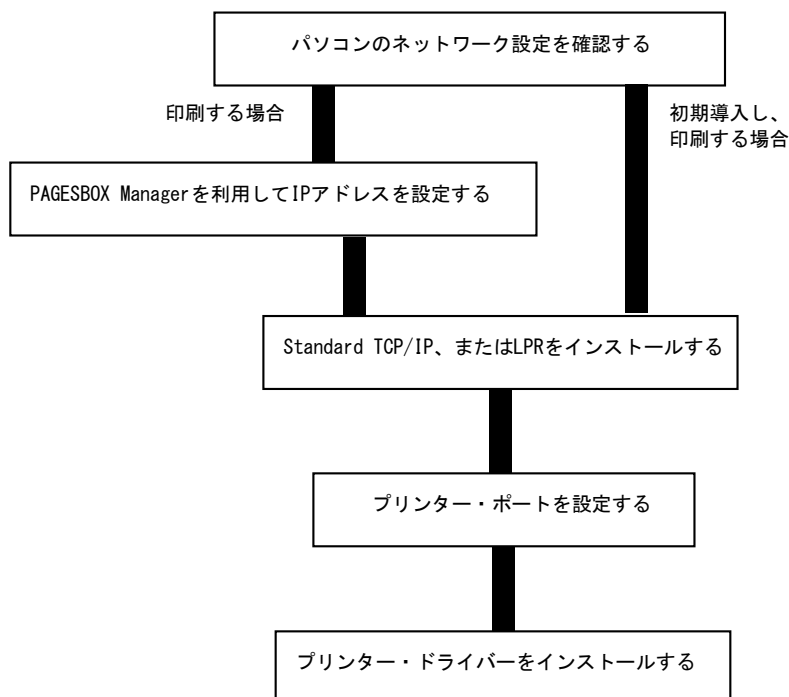
Windows環境で本製品を接続して、TCP/IPで印刷を行う方法について説明します。

Windows環境からTCP/IPで印刷する

TCP/IPプロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



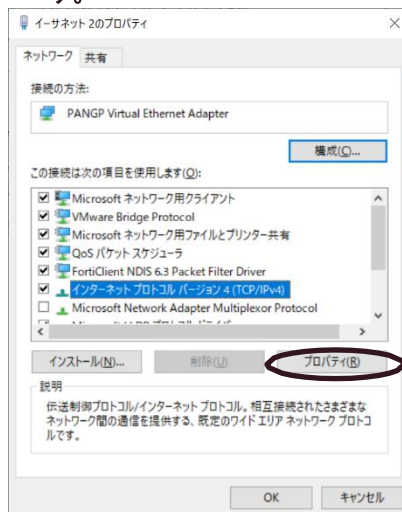
- あらかじめパソコンに弊社ホームページ (<https://jbsol.jbcc.co.jp/>) からPAGESBOX用プリンター・ドライバーをダウンロードしておく必要があります。



パソコンのネットワーク設定を確認する

[インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] が追加されていることを確認します。

1. タスクバーのスタートボタンから、コントロールパネル「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」→タスクの「ネットワーク接続の管理」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] が追加されていることを確認します。



「プロパティ」をクリックしてください。



[インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] が一覧にない場合は、以下の手順で追加します。

1. 「インストール」をクリックし、「ネットワーク機能の種類の選択」ダイアログボックスで「プロトコル」を選択します。
2. ネットワークプログラムの一覧から [インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] を選択します。

4. [全般] で、使用環境に合わせた設定が行われているか確認します。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 192 . 218

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(O)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

☐ 終了時に設定を確認する(L) 詳細設定(D)...

OK キャンセル



重要

Windows環境でTCP/IPプロトコルを使用する場合は、コントロールパネルの「セキュリティ」－「Windowsファイアウォール」の「Windowsファイアウォールの有効化または無効化」をクリックし、一時的にWindowsファイアウォールの機能を「無効」にして設定を行ってください。

ユーティリティソフトウェアを使用する

ユーティリティソフトウェアについて説明します。JBCCホームページ (<https://jbsol.jbcc.co.jp/>) には設定ツールおよび総合ユーティリティ、マニュアルが収録されています。Windows環境で使用することができます。



UNIX/Linuxでは、ユーティリティソフトウェアは利用できません。ブラウザ環境で使用可能です。
WiFi等の使用環境によってATPS ManagerでPAGESBOXが正しく検出されない場合があります。その場合は有線LAN等の安定した環境でご使用ください。

本製品では下記のユーティリティソフトウェアが使用可能です。

- ATPS Manager

総合ユーティリティ「ATPS Manager」は本製品の詳細設定と、管理を行うことができます。詳細な説明は第4章を参照してください。

ATPS ManagerによるIPアドレス設定

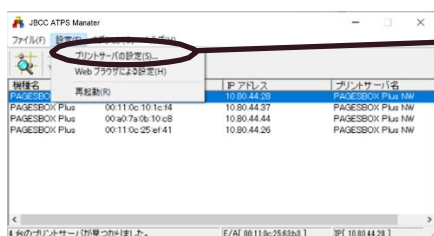
IPアドレスの設定を手動で行います。



本設定を行う前に、本製品のEthernetアドレスを確認してください。Ethernetアドレスは、本製品の背面のラベルに記載されています。（例：00:A0:7A:0B:00:01）

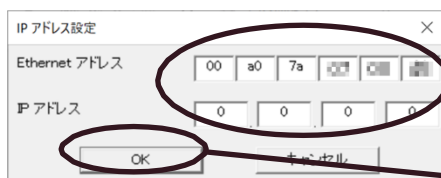
1. JBCC ホームページからATPS Managerをダウンロードし、圧縮ファイルを展開後、Adsetup.exeを実行してインストールを実行します。実行後、ATPS Managerを起動します。

2.



ATPS Managerのメニューバーから「設定」－「プリンターの設定」を選択してIPアドレス設定画面を開いてください。（IPアドレスが「0.0.0.0」の場合のみ直接、IPアドレス設定画面が表示されます）

3.

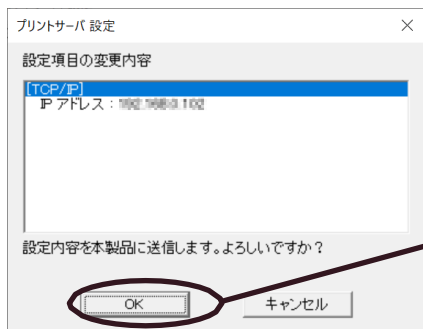


設定する製品のEthernetアドレスが一致していることを確認し、設定するIPアドレスを入力してください。

OK

をクリックしてください。

4.



設定したIPアドレスの確認画面が表示されます。

OK

をクリックしてください。

5.



設定したIPアドレスを有効にするために本製品を再起動します。

はい

をクリックしてください。



使用環境によっては、再起動直後に通信エラーが発生する場合があります。その時は時間をおいてから検索ボタンでPAGESBOXを検索してください。PCと異なるセグメントのIPアドレスをPAGESBOXに設定した場合はATPS Managerから表示されなくなります。

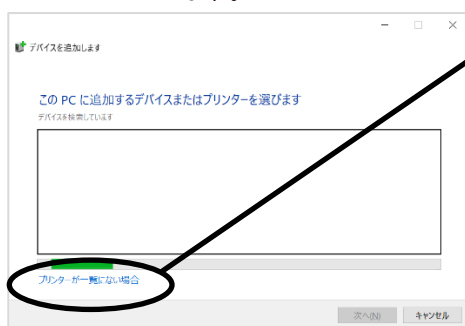
ATPS Managerの[オプション]－[環境設定]で設定したIPアドレスを登録するか、もしくはPAGESBOXにIPアドレス設定後はWebブラウザをご使用ください。

Standard TCP/IPポートで印刷する



OSのバージョンによって画面が異なります。

1. コントロールパネルから「デバイスとプリンターの表示」を開き、「プリンタの追加」をクリックします。



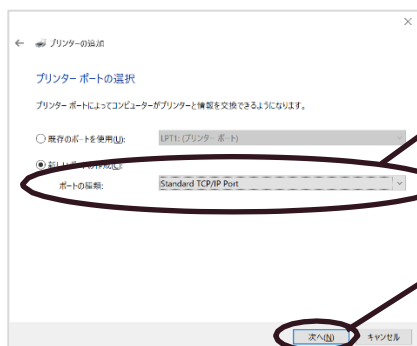
プリンターが一覧にない場合を選択します

2. 設定するプリンターの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択します

3. プリンター・ポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

次へ

をクリックしてください。

4. プリンター・ポートを追加します。

プリンターの追加

ホスト名または IP アドレスを入力します

デバイスの種類ID: TCP/IP デバイス

ホスト名または IP アドレス:

ポート名:

☐ プリンターを探索して、使用するプリンタードライバを自動的に選択する(O)

自動検出によって WSD プリンター と TCP/IP プリンター が検出されます。
IP プリンター を検出するには、ダウンロード ポリクスから IP をインストールしてください

次へ(N)

本製品に設定したIPアドレスを入力してください。

名前を付けない場合は、既定値 (XXX. XXX. XXX. XXX) をご使用ください。

次へ

をクリックしてください。

5. デバイスの種類を決定します。

プリンターの追加

追加のポート情報が必要です

デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください:

1. デバイスがオンになっている。
2. ネットワークが接続されている。
3. デバイスが正しく構成されている。
4. 前のページのアドレスが正確である。

アドレスが間違っていると考えられる場合は、[戻る] をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークで別の検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、このデバイスの種類を選択してください。

デバイスの種類

検索: Generic Network Card

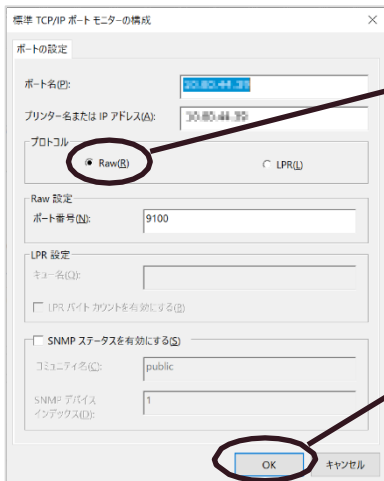
カスタム(C) 既定値(D)

次へ(N)

「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。

6. ポート情報を入力します。

(A) Rawモードで使用する場合



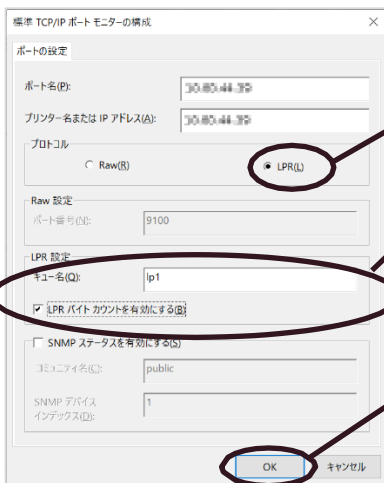
「Raw」を選択してください。

OK

をクリックしてください。

「OK」をクリックすると5.の画面に戻りますので、その画面で「次へ」をクリックしてください。

(B) LPRモードで使用する場合



「LPR」を選択してください。

キュー名は「lp1」を入力し、「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを入れてください。

OK

をクリックしてください。

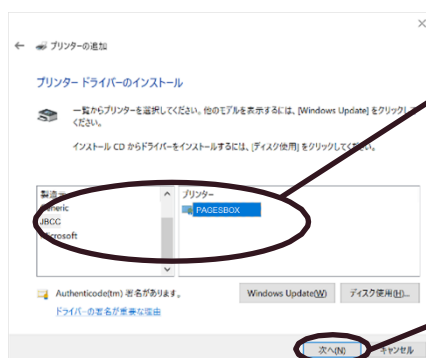
「OK」をクリックすると5.の画面に戻りますので、その画面で「次へ」をクリックしてください。



- SNMPステータスは有効にしないでください。正常に動作しません。
- キュー名は、「lp1」～「lp6」の任意のキュー名が使用できます。通常は「lp1」をご使用ください。

「OK」をクリックすると5.の画面に戻りますので、その画面で「次へ」をクリックしてください。

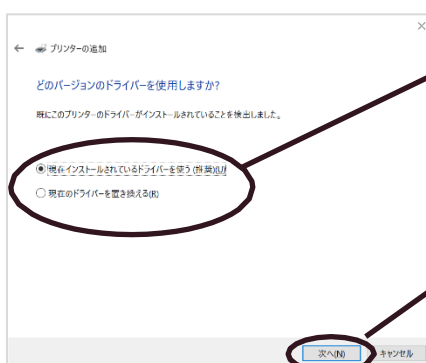
7. プリンター・ドライバーを選択します。



PAGESBOXのドライバーを選択してください。初めてインストールする場合は、ディスク使用を押して、ダウンロードしたドライバーを指定してください。

次へ をクリックしてください。

8. プリンター・ドライバーの導入方法を確認します。



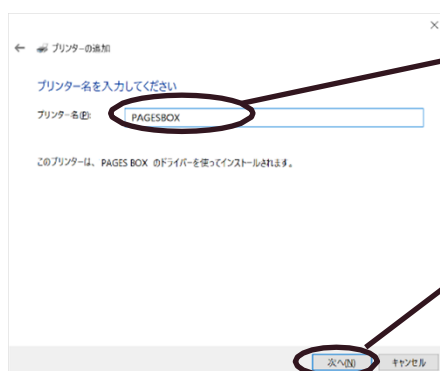
「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



最新ドライバーを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

9. プリンター名を登録します。



プリンター名の登録を行います。

次へ をクリックしてください。

10. テストページを印刷するかを選択します。



「テストページの印刷」をクリックしてください。

完了

をクリックしてください。

プリンターにテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

LPRポートで印刷する

LPRポートの追加

LPR印刷機能を使用して印刷する前に、LPR Portを追加する必要があります。追加の方法は以下の通りです。

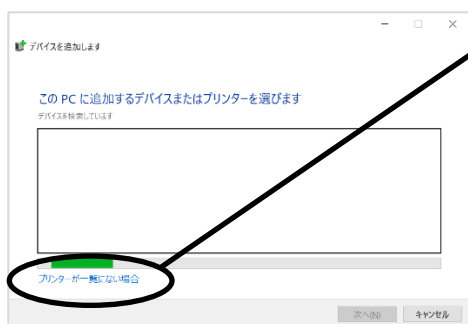
1. コントロールパネルから「プログラム」－「プログラムと機能」－「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。
2. 「印刷とドキュメント サービス」の中の「LPRポートモニタ」をチェックし、OKボタンをクリックします。
コンポーネントの追加が終了するとウィザードが自動的に閉じます。



以下の説明は、Windows 7の画面を使用しています。その他のバージョンのOSをご利用の場合、画面が異なります。

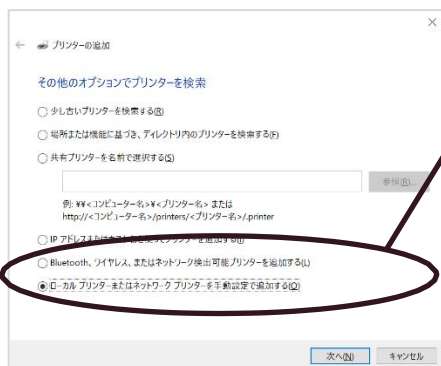
LPRポートで印刷する

1. コントロールパネルから「デバイスとプリンターの表示」を開き、「プリンタの追加」をクリックします。



プリンターが一覧にない場合を選択します

2. 設定するプリンターの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択します

3. プリンター・ポートを選択します。

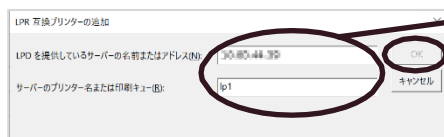


「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「LPR Port」を選択します。

次へ

をクリックしてください。

4. LPR互換プリンターを追加します。



本製品に設定したI P アドレスと印刷キュー名を入力してください。

OK

をクリックしてください。



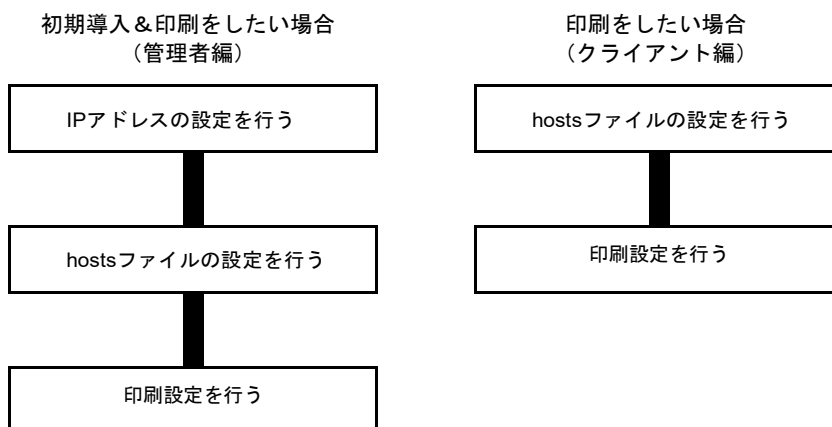
印刷キュー名は、「lp1」～「lp6」の任意のキュー名が使用できます。通常は「lp1」をご使用ください。

以降は、Standard TCP/IPポートの手順7以降と同じです。

UNIX/Linux環境で使用する

UNIX/Linux環境で使用するために必要な設定と、LPDおよびFTPによる印刷について説明します。設定方法は一例ですので、詳細はご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。

UNIX/Linux環境で印刷するまでの手順



ARPを使用したIPアドレスの設定

IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録し、PINGを実行することで、IPアドレスを設定することができます。



重要

この方法により設定されたIPアドレスは一時的な設定であり、本製品に登録されません。
設定後は必ずWebでIPアドレスの登録を行ってください。

例) Ethernetアドレスが「00a07a0b0001」、IPアドレスが「192.168.128.252」の場合

1. 本製品の電源を投入します。
2. ARPコマンドを使い、IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録します。

```
arp -s 192.168.128.252 00:a0:7a:0b:00:01 temp
```
3. PINGを実行します。

```
ping 192.168.128.252
```
4. 実行後、本製品より応答があれば設定完了です。

```
192.168.128.252 is alive.
```

hostsファイルの設定

UNIXまたはLinuxマシンのhostsファイルにホスト名とIPアドレスを登録します。



- hostsファイルを編集する場合は、ネットワーク管理者に確認の上作業してください。
- DNS等のIP管理システムをご利用の場合は、hostsファイルの編集を行う必要がない場合があります。

1. UNIX/Linuxマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

2. /etc/hostsファイルに本製品のホスト名とIPアドレスを登録します。

hostsファイルの編集には“vi”などのエディタを使用します。

例) IPアドレスが「192.168.128.252」、ホスト名が「pbox」の場合

```
192.168.128.250  venus    # UNIX-A
192.168.128.251  mars     # UNIX-B
192.168.128.252  pbox     # Print-Server
```

3. プリンターの電源をONにし、「ping」コマンドを使用して、ネットワークとの接続が行えるかを確認します。

```
# ping pbox
```



応答がない場合やエラーが表示される場合は、本製品のIPアドレスの設定、hostsファイルの記述またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者に確認してください。

LPDを使用した印刷

TCP/IPのLPDプロトコルを使用して印刷するための設定方法を説明します。

「lpr」、「lp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。



- LPDプロトコルについて
LPD (Line Printer Daemon) プロトコルは、ネットワーク上のプリンターに印刷するためのプロトコルです。
- 論理プリンターについて
lp1～lp6が利用可能です。。

FTPを使用した印刷

TCP/IPのFTPプロトコルを使用して印刷する方法を説明します。「ftp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルを参照してください。



- FTPプロトコルについて
FTP (File Transfer Protocol) プロトコルは、TCP/IPでファイルを転送するためのプロトコルです。本製品の論理ディレクトリに対して、印刷データを転送することで印刷を行います。
- 論理ディレクトリについて
lp1～lp6が利用可能です。

本製品の論理ディレクトリ構成

/	ルート
lp1	論理ポート1出力
lp2	論理ポート2出力
lp3	論理ポート3出力
lp4	論理ポート4出力
lp5	論理ポート5出力
lp6	論理ポート6出力

印刷する

1. 本製品へログインします。

ユーザー名 : ftp
パスワード : (なし)
を各自入力してログインしてください。

例) IPアドレス「192.168.129.88」のプリンターにログインする場合

```
ftp 192.168.129.28
192.168.129.28 に接続しました。
220 pages-box FTP server (GNU inetutils 1.4.1) ready.
ユーザー (10.80.44.240:(none)): ftp
331 Guest login ok, type your name as password.
パスワード:
230 Guest login ok, access restrictions
apply. ftp>
```

2. 「cd」コマンドで、転送先ディレクトリへ移動します。



本製品は、転送先ディレクトリが階層構造となっています。必ず印刷するディレクトリへ移動して、印刷データを出力してください。

例) lp1 ディレクトリへ移動し、現在のディレクトリを確認する場合

```
ftp> cd lp1
250 CWD command
successful. ftp> pwd
257 "/lp1" is current
directory. ftp>
```

3. 転送モードを変更します。



転送モードには、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」とファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」の2種類があります。プリンター・ドライバーで変換されたバイナリファイルを転送する場合は、転送モードを「BINARYモード」に設定します（指定しない場合は「ASCIIモード」で出力されます）。

例) 転送モードをBINARYモードに変更し、現在のモードを確認する場合

```
ftp> bin
```

```
200 Type set to
```

```
1. ftp> type
```

```
binary モードを使用してファイルを転送します。
```

```
ftp>
```

4. 「put」コマンドを用いて、印刷データを本製品へファイル転送します。

例) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp>put test.prn
```

5. 「quit」コマンドでログアウトします。

```
ftp>quit
```

状態を確認する

「quote」コマンドの「stat」を使って、IPアドレス、転送モードの状態を確認することができます。

例) PAGESBOXの状態表示

```
ftp> quote stat
```

```
211- pages-box FTP server status:
```

```
      ftpd (GNU inetutils) 1.4.1
```

```
      Connected to XX.XX.XX.XX Logged
```

```
      in anonymously
```

```
TYPE: Image; STRUcture: File; transfer MODE: Stream No
```

```
data connection
```

```
211 End of status
```

(XX, XXは任意の数値)

本製品のWebページを表示する

本製品はHTTPプロトコルを搭載しており、Webブラウザを利用して本製品の設定変更を行います。また、リモートでの再起動や初期値印刷、プリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能が利用可能です。

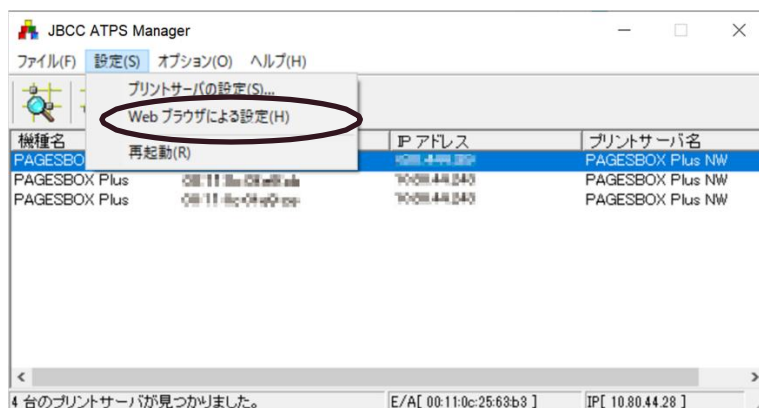
Webページを表示させる方法は2つあります。



Webブラウザを利用する場合、本製品のTCP/IPプロトコル設定が有効であり、IPアドレスが設定されている必要があります。
また、Webブラウザによって多少表示が異なる場合があります。

ATPS ManagerからWebページを表示する

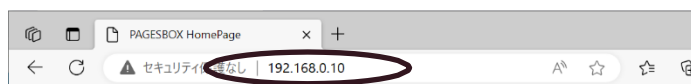
ATPS Managerの一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」－「Webブラウザによる設定」をクリックします。



WebブラウザからWebページを表示する

本製品に設定されたIPアドレスをWebブラウザに入力します。

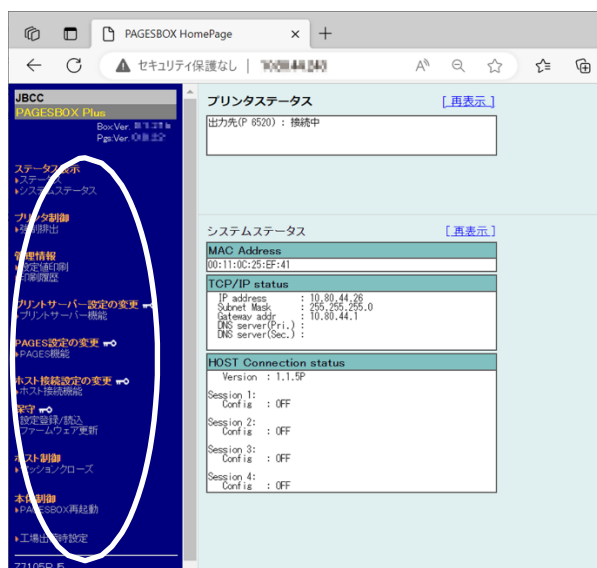
例) <http://192.168.0.10>



本製品をWebページから設定する

本製品Webページメニュー構成

Webページで設定、及び表示できる項目は以下の通りです。



項目		説明
ステータス表示	ステータス	プリンター、及びPAGESBOXステータスを表示
	システムステータス	システム・ステータスを表示
プリンター制御	強制排出	溜まった印刷データの強制排出実行
管理情報	設定値印刷	PAGESBOXの設定情報の印刷実行
	印刷履歴	印刷履歴の表示
設定の変更	プリントサーバー制御	ネットワーク・インターフェースの各種設定
	PAGES機能	PAGES機能の各種設定
	ホスト接続機能	ホスト接続の各種設定
	(PAGESBOX Plusのみ)	
ホスト制御	セッションクローズ	ホストとの接続のセッションクローズ実行
	(PAGESBOX Plusのみ)	
保守 (Z7105PJ0/Z7105PJ5のみ)	設定登録/読込	PAGESBOXの設定、外字データ、フォームデータの 設定を読込/登録
	ファームウェア更新	PAGESBOX本体ファームウェアの更新機能 別紙の「ファームウェア更新手順」参照
本体制御	PAGESBOX再起動	PAGESBOXの再起動実行
	工場出荷値設定	PAGESBOXの工場出荷値設定実行
インフォメーション	型番	製品型番の表示 Z7100PJ0/Z7100PJ5では表示されません
	ホームページ	J B C C株式会社ホームページの表示

本製品のパスワード入力

Webブラウザを起動後初めてメニューをクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。



ユーザー名：root

パスワード：（環境設定で設定したパスワード）を各自入力して、「OK」をクリックしてください。

パスワードを設定していない場合は、パスワード欄は未入力のまま「OK」をクリックしてください。

設定値を印刷する

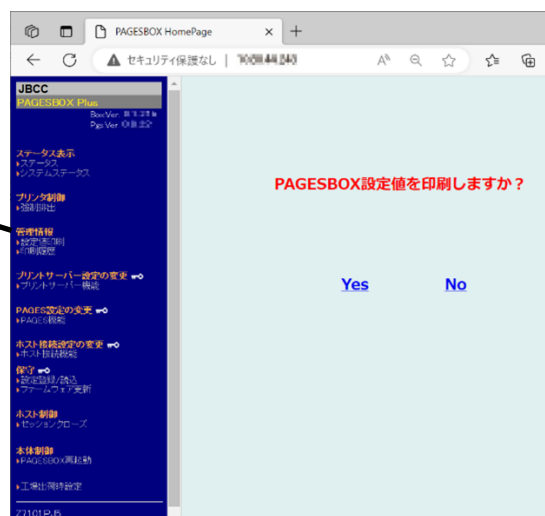
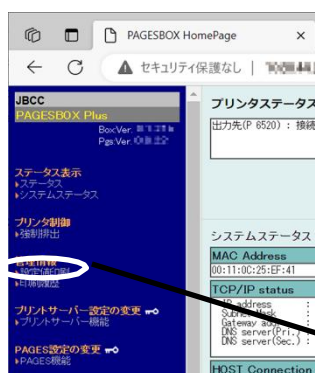
本製品で設定した値をWebページから印刷実行できます。

設定値印刷の印刷方法

現在設定されているPAGESBOXの設定値の一覧を印刷して、確認できます。



設定値を印刷する方法は、テストスイッチでも可能です。第1章のテストスイッチの操作を参照してください。



設定値印刷例

PAGESBOXの設定値印刷による印刷例を示します。PAGESBOXは2枚、PAGESBOX Plusは3枚印刷されます（設定した内容によって印刷枚数が増える場合があります）。

ご使用のモデルやバージョンにより、ここに示す例と異なる結果が出る場合があります。

プリントサーバー機能

PAGESBOX設定値一覧	
Model	: Z7101P10 PAGESBOX
MAC Address	: 00:11:0C:25:3F:00
Version Box	: 2.0.00
Pages	: 1.1.40
対応プリンタ	: SP6410 SP6420 P6000 P6010 P6020
[一般設定]	
LANインターフェイス	: N100
キーブライズ設定	: ENABLE
キーブライズ時間(分)	: 3分
特殊	: 3000
[TCP/IP設定]	
DHCPを使用する	: DISABLE
IPアドレス	: 10.80.44.44
サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 10.80.44.1
ARP+PING IPアドレス設定	: ENABLE
[NTP設定]	
NTPを使用する	: 使用しない
接続先IPアドレス	: 0.0.0.0
接続先ポート番号	: 123
[DNS設定]	
プライマリサーバ	: 10.10.10.10
セカンダリサーバ	: 10.10.10.11
[IPフィルター設定]	
動作モード	: DENY
フィルタ 40 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 41 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 42 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 43 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 44 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 45 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 46 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 47 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 48 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
フィルタ 49 アドレス	: 0.0.0.0 / 32
[論理ポート設定1 (lp1)]	
B01の前に初期化コマンド	: ENABLE
B01文字列	:
E01文字列	:
TCP/IP Rawモード番号	: 9100
[論理ポート設定2 (lp2)]	
B01の前に初期化コマンド	: ENABLE
B01文字列	:
E01文字列	:
TCP/IP Rawモード番号	: 9101
[論理ポート設定3 (lp3)]	
B01の前に初期化コマンド	: ENABLE
B01文字列	:
E01文字列	:
TCP/IP Rawモード番号	: 9102
[論理ポート設定4 (lp4)]	
B01の前に初期化コマンド	: ENABLE
B01文字列	:
E01文字列	:
TCP/IP Rawモード番号	: 9103
[論理ポート設定5 (lp5)]	
B01の前に初期化コマンド	: ENABLE
B01文字列	:
E01文字列	:
TCP/IP Rawモード番号	: 9104
[論理ポート設定6 (lp6)]	
B01の前に初期化コマンド	: ENABLE
B01文字列	:
E01文字列	:
TCP/IP Rawモード番号	: 9105

ホスト接続機能 (PAGESBOX Plusのみ)

[ホスト接続共通設定]			
セッション1	:OFF		
セッション2	:OFF		
セッション3	:OFF		
セッション4	:OFF		
セッションタイムアウト(秒)	:100		
内部トレース	:OFF		
[セッション1(TN5250)]		[セッション2(TN5250)]	
接続先IPアドレス	:0.0.0.0	接続先IPアドレス	:0.0.0.0
TCP/IP Rawモード番号	:23	TCP/IP Rawモード番号	:23
自動再接続	:ON	自動再接続	:ON
装置名称		装置名称	
メッセージ待ち行列	:QSY50PR	メッセージ待ち行列	:QSY50PR
メッセージウィザリ	:*L1BL	メッセージウィザリ	:*L1BL
ホストコードページ	:839	ホストコードページ	:839
自動改行	:ON	自動改行	:ON
トラックモード	:OFF	トラックモード	:OFF
SI/SOの拡大動作	:OFF	SI/SOの拡大動作	:OFF
ATNモード	:Subcommand	ATNモード	:Subcommand
出力先印刷ポート	:lp1	出力先印刷ポート	:lp1
ジョブ毎設定	:ON	ジョブ毎設定	:ON
機器登録外字の使用	:OFF	機器登録外字の使用	:OFF
ファンクション	:0000	ファンクション	:0000
[セッション3(TN5250)]		[セッション4(TN5250)]	
接続先IPアドレス	:0.0.0.0	接続先IPアドレス	:0.0.0.0
TCP/IP Rawモード番号	:23	TCP/IP Rawモード番号	:23
自動再接続	:ON	自動再接続	:ON
装置名称		装置名称	
メッセージ待ち行列	:QSY50PR	メッセージ待ち行列	:QSY50PR
メッセージウィザリ	:*L1BL	メッセージウィザリ	:*L1BL
ホストコードページ	:839	ホストコードページ	:839
自動改行	:ON	自動改行	:ON
トラックモード	:OFF	トラックモード	:OFF
SI/SOの拡大動作	:OFF	SI/SOの拡大動作	:OFF
ATNモード	:Subcommand	ATNモード	:Subcommand
出力先印刷ポート	:lp1	出力先印刷ポート	:lp1
ジョブ毎設定	:ON	ジョブ毎設定	:ON
機器登録外字の使用	:OFF	機器登録外字の使用	:OFF
ファンクション	:0000	ファンクション	:0000

- Page 2 -

PAGES機能

[PAGES共通設定]		[ラベルコマンドモード]	
給紙部オプション	:標準	ラベルコマンド	:無効
優先給紙トレイ	:トレイ1	コマンドタイプ	:/、<
タイムアウト	:OFF	取消コマンド	:有効
タイムアウト時間(秒)	:11500	トレイ選択コマンド	:前、11/C2
漢字コード	:JIS90	LF→CR LF	:無効
両面印刷	:OFF	文字セットの設定	:CP932/JIS78
両面トレイ方向	:長辺	ページ倍率	:標準
両面白紙追加	:しない	任意ページ倍率(前)	:100%
ページ数	:等倍(100%)	任意ページ倍率(後)	:100%
詳細情報(X)	:OFF	裏面余白(上)	:6.4mm
コピー枚数	:1枚	裏面余白(下)	:6.4mm
自動トレイ切替	:ON	裏面余白(左)	:6.4mm
トナーセーブ	:OFF	裏面余白(右)	:6.4mm
全角寄せ	:印刷	用紙残量の位置	:標準
デフォルトの折り返し位置	:用紙サイズ	裏面余白モード	:設定値使用
ANKフック	:印刷		
キャラクターモード	:OFF		
ENCLタイムアウト	:5秒		
CSR	:0000		
[手差しトレイ]		[トレイ1]	
用紙サイズ	:A4横	用紙サイズ	:A4横
不定形サイズ幅(mm)	:210mm	不定形サイズ幅(mm)	:210mm
不定形サイズ長さ(mm)	:297mm	不定形サイズ長さ(mm)	:297mm
印刷方向	:縦	印刷方向	:縦
上余白(mm)	:6.4mm	上余白(mm)	:6.4mm
下余白(mm)	:6.4mm	下余白(mm)	:6.4mm
左余白(mm)	:6.4mm	左余白(mm)	:6.4mm
右余白(mm)	:6.4mm	右余白(mm)	:6.4mm

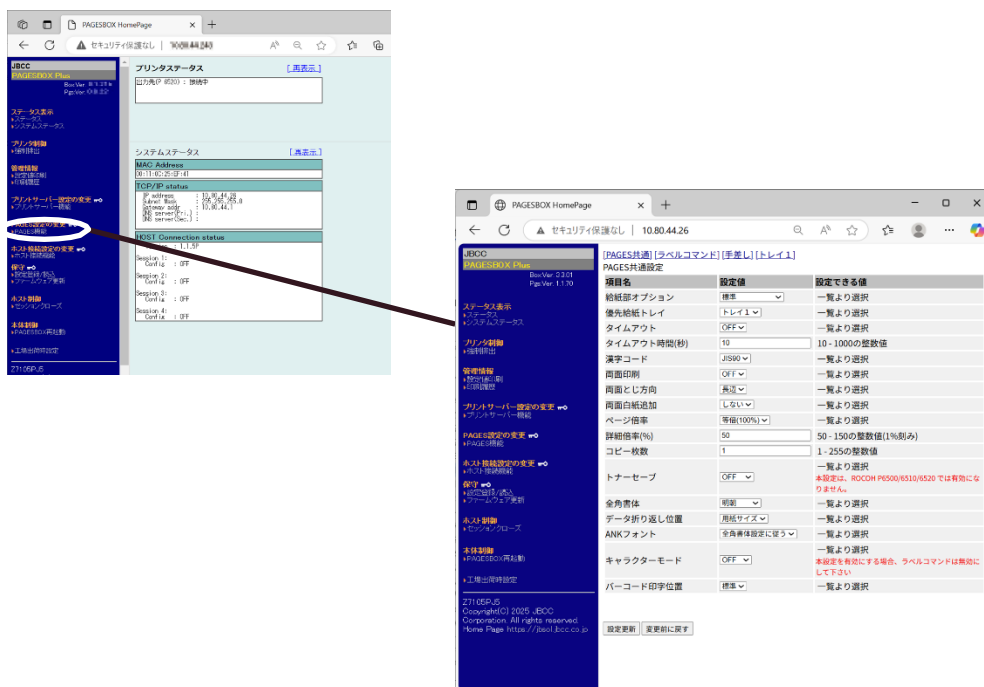
第3章 印刷条件（PAGES）の設定

本章では、用紙設定などの実際に印刷に関する設定について説明します。

印刷条件を設定する

Webブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。

設定項目に関する詳細は、本章の各項目を参照してください。



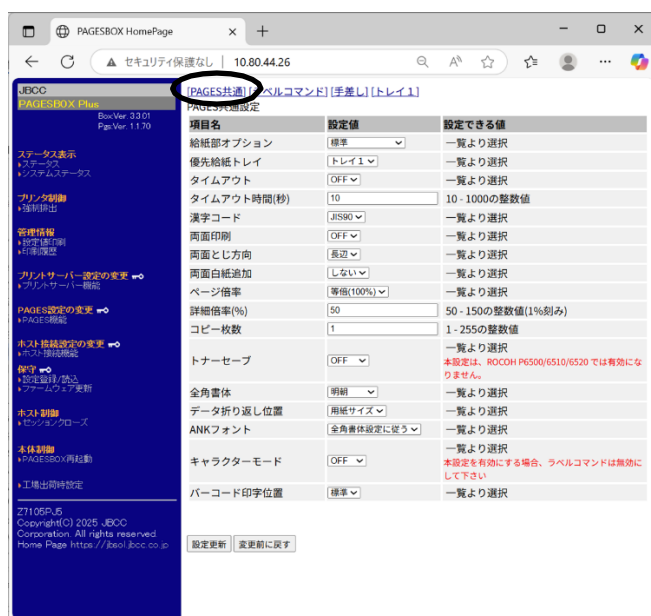
印刷条件の設定項目

ここでは印刷条件の設定項目を説明します。

PAGES共通設定



従来機で設定していた「自動トレイ切替」設定は、プリンター本体の「自動トレイ選択」設定 をご使用ください。工場出荷設定は、従来機の工場出荷設定と同等の動作をします。設定方法の詳細は、プリンター本体のマニュアルをご参照ください。



項目	説明	工場出荷設定
給紙部オプション	プリンター部の給紙部構成を設定します。標準構成のほか、にトレイを増設している場合に設定します。	標準
優先給紙トレイ	印刷データがトレイ未指定時に、優先される給紙トレイを選択します。	トレイ1
タイムアウト	システム・ユニットから一定時間データが送られてこなかったときに、プリンター内に残っているデータの印刷の取り消し、または強制排出を行うように設定します。	OFF
タイムアウト時間	タイムアウトを「ON」に設定すると、印刷の取り消し、または強制排出までの時間を10 秒から1000 秒まで設定できます。	10（秒）
漢字コード	漢字コード並びをJIS78またはJIS90に設定します。	JIS90
両面印刷	両面印刷するときに設定します。	OFF
両面とじ方向	両面印刷の出力紙の綴じ方向を設定します。	長辺
両面白紙追加	両面印字に空白ページの追加を設定します。	しない

項目	説明	工場出荷設定
ページ倍率	拡大・縮小印刷するときに設定します。	等倍（100%）
詳細倍率	ページ倍率設定で、「詳細倍率」を指定した時の縮小・拡大率を1%単位で設定します。50%から150%まで設定できます。	50（%）
コピー枚数	文書のコピー枚数（同じページを何枚印刷するか）を設定します。1枚から255枚まで設定できます。	1（枚）
トナーセーブ	トナー・セーブ・モードを切り替えます。	OFF
全角書体	全角文字の書体を設定します。	明朝
データ折り返し位置	折り返し印刷の位置を設定します。	用紙サイズ
ANK フォント	半角書体の英数カナ文字の書体を設定します。	全角書体設定に従う
キャラクターモード	プリンター用コマンドを、キャラクターで制御する場合に使用します。開始宣言文字列を「&\$%\$」か「\$?!#」のどちらかに設定します。 ※本設定を有効にする場合、「ラベルコマンド」は「無効」にしてください。	OFF
バーコード印字位置	縮小印刷時にバーコード位置が正しく印刷されない場合に設定します。 この機能を有効にするには [調整] を選択します。 この機能は、[ページ倍率] 設定で、[連帳>A4] または、[連帳>B4] に設定されている場合に有効です。 また、1次元バーコードのみで有効で、2次元コードでは調整されません。 注）本機能は、V3. 1. 00 以降で使用可能です。	標準

❖ 給紙部オプション

プリンター部の給紙部構成を設定します。標準構成のほかにトレイを増設している場合に設定します。

標準	プリンターの標準構成の手差しトレイとトレイ1のみ
使用トレイ2	標準構成に加えて、増設トレイ2を追加します
トレイ2+3	標準構成に加えて、増設トレイ2、トレイ3を追加します
トレイ2+3+4	標準構成に加えて、増設トレイ2、トレイ3、トレイ4を追加します



トレイ2/トレイ3/トレイ4ごとの設定は、給紙部オプションで給紙部構成を設定したあとの再起動後に表示されます。

❖ 優先給紙トレイ

印刷データがトレイ未指定時に、優先される給紙トレイを選択します。



トレイ2/トレイ3/トレイ4は、給紙部オプションで給紙部構成を設定した場合のみ有効です。追加されていない給紙部を選択した場合は、トレイ1として動作します。

❖ タイムアウト

システム・ユニットから一定時間データが送られてこなかったときに、プリンター内に残っているデータの印刷の取り消し、または強制排出を行うように設定します。

❖ タイムアウト時間

タイムアウトを「ON」に設定すると、印刷の取り消し、または強制排出までの時間を10秒単位で1000秒まで設定できます。



タイムアウト時間はタイムアウトが“ON”のときのみ有効です。

❖ 漢字コード

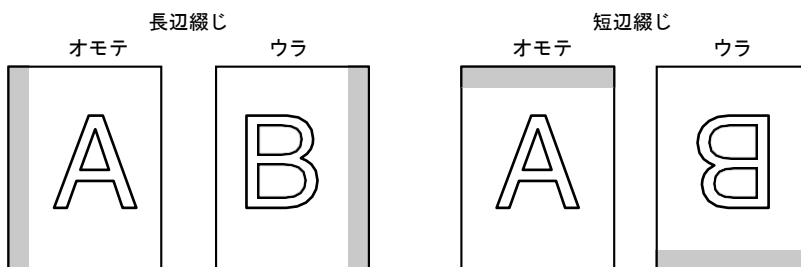
漢字コード並びをJIS78またはJIS90に設定します。

❖ 両面印刷

両面印刷するように設定します。

❖ 両面とじ方向

両面印刷の出力紙の綴じ方向を設定します。



 は綴じ位置を表します。

❖ 両面白紙追加

両面印字に空白ページの追加を設定します。



通常の場合、この設定は工場出荷値のままで変更する必要はありません。PAGES言語をご利用のシステム・ユニットから両面印刷時に余分な白紙が印刷される場合のみ空白追加「しない」を選択してください。

❖ ページ倍率

拡大・縮小印刷するときに設定します。

Normal (100%) 等倍 (100%)

B4>A4 B4サイズをA4サイズに縮小 (80%)

A3>A4 A3サイズをA4サイズに縮小 (約67%)

連帳>A4 連続紙をA4サイズに縮小 (横75%、縦約69%)

連帳>B4 連続紙をB4サイズに縮小 (横100%、縦約88%)

A4>B4 A4サイズをB4サイズに拡大 (120%)

A4>A3 A4サイズをA3サイズに拡大 (141%)

詳細倍率 縮小・拡大率を1%単位で設定します。(50 ~150%)

❖ 詳細倍率

縮小・拡大率を1%単位で設定します。(50 - 150%)



ページ倍率が“詳細倍率”のときのみ有効です。

❖ コピー枚数

文書のコピー枚数 (同じページを何枚印刷するか) を設定します。設定範囲は1 ~ 2 5 5 です。



アプリケーション・プログラムでコピー部数を設定している場合には、この設定は無視されます。

❖ トナーセーブ

トナー・セーブ・モードを切り替えます。トナー・セーブ・モードを選択すると、印刷濃度が薄くなります。その結果、トナーの消費量を減らし、EPカートリッジの寿命を延ばすことができます。トナー・セーブ・モードの印刷濃度は2段階から選択できます。

ダーク トナーを節約して印刷します。やや薄めに印刷されます。

ライト ダークよりさらにトナーを節約して印刷します。薄めに印刷されます。

※本設定は、RICOH P6500/6510/6520 では有効になりません。

❖ 全角書体

全角文字の書体を設定します。

明朝体 日本語レーザー・プリンター 0 1 2 3 4

ゴシック 日本語レーザー・プリンター 0 1 2 3 4



アプリケーション・プログラムで文字書体を設定している場合には、この設定は無視されます。

❖ データ折り返し位置

システム・ユニットから送られるデータによっては、印刷領域を超える文字データは次の行に折り返して印刷されます。[データ オリカエシ イチ]では、この折り返し印刷の位置を設定します。

用紙サイズ	印字領域の端で折り返す
13.6インチ	13.6インチ（約34.5cm）で折り返す
13.2インチ	13.2インチ（約33.5cm）で折り返す
8.0インチ	8.0インチ（約20.3cm）で折り返す
840mm	840mmで折り返す

❖ ANKフォント

制御コマンドで書体を指定しないときに印刷される、英数カナ文字の半角書体を設定します。「全角書体設定に従う」が設定されているときは、全角書体と同じ書体を選択されます。

全角書体設定に従
うクーリエ
エリート
レターゴシック
OCR-B

❖ キャラクタモード

通常16進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターへ送信し、制御する場合に使用します。

この機能を使用することにより、IBM 3270PCまたはIBM 5250PC経由で、直接送ることが可能となります。このような使用環境で印刷する場合は、開始宣言文字列を「&\$%\$」か「\$?!#」のどちらかに設定します。このような使用環境でない場合は、OFFのままでご使用ください。

※本設定を有効にする場合、[ラベルコマンド]は「無効」にしてください。

OFF	キャラクター・モードを設定しない
&\$%\$	開始宣言文字列に&\$%\$を使う
\$?!#	開始宣言文字列に\$?!#を使う



[使用例] ‘&\$%\$’ に設定した場合

&\$%\$	0006	1B	7E	50	00	01	01
開始宣言文字列	長さ	横書指定コマンド					

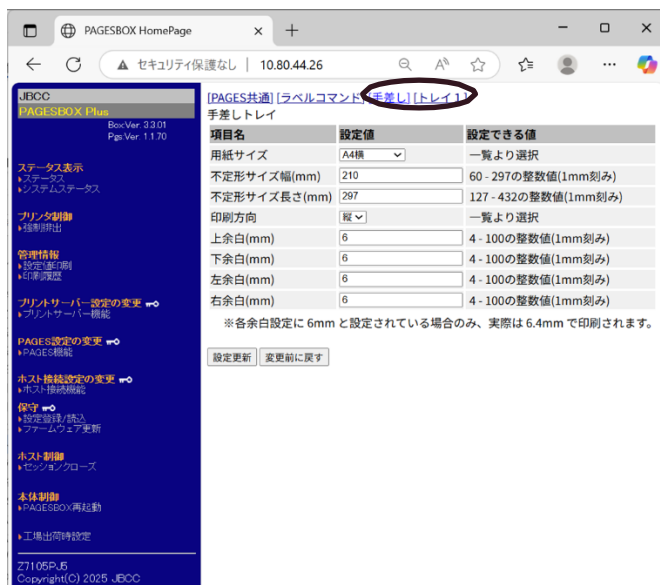
をプリンターへ送信したとき、用紙方向の設定値「横」へ変わります。

トレイ設定

プリンターのトレイに入っている用紙の設定を行います。トレイ2、トレイ3、及びトレイ4は、PAGES共通設定の「給紙部オプション」で設定されているときのみ表示されます。



普通紙以外の用紙を使用する場合は、通常の設定に加えて、プリンター本体で「紙種設＝厚紙」の設定を行い、アプリケーション側からはトレイ指定でご使用下さい。プリンターの設定方法の詳細は、プリンター本体のマニュアルをご参照ください。



項目	説明	工場出荷設定
用紙サイズ	トレイに入っている用紙サイズを設定します。	A4横
不定形サイズ幅 (mm)	用紙サイズで、「不定形」を設定したときの不定形サイズを設定します。	210 (mm)
不定形サイズ長さ (mm)		297 (mm)
印刷方向	印刷方向を設定します。	縦
上余白 (mm)	用紙の上下左右の余白を、1mm単位で設定します。 注) 6mmと設定された場合のみ6mmではなく6.4mmとなります。	6.4 (mm)
下余白 (mm)		6.4 (mm)
左余白 (mm)		6.4 (mm)
右余白 (mm)		6.4 (mm)

❖ 用紙サイズ

トレイに入っている用紙サイズを設定します。本製品で選択できる用紙サイズは、下記の通りです。

A3縦、A4縦、A4横、A5縦、A5横、A6縦、B4縦、B5縦、B5横、B6縦、
はがき縦、レター縦、レター横、リーガル縦、不定形

❖ 不定形サイズ

トレイに入っている用紙サイズで「不定形」を選択した場合に、その不定形サイズを設定します。使用可能なサイズは、プリンター本体のマニュアルを参照してください。

❖ 印刷方向

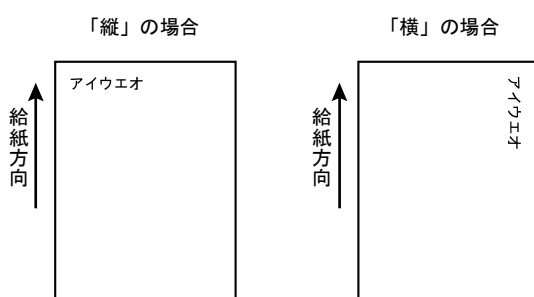
印刷方向を設定します。

アプリケーションで印刷方向の設定ができる場合は、アプリケーションの設定が優先されます。印刷方向とは、用紙のセット方向ではなく、給紙方向に対して文字が並ぶ方向のことです。

「縦」または「横」に設定します。

縦 給紙方向に対して垂直に文字を印刷します。

横 給紙方向に対して平行に文字を印刷します。

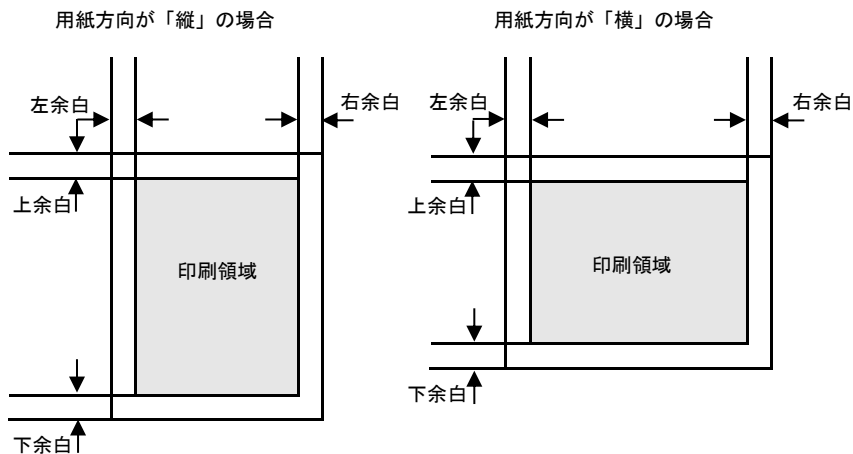


ラベルコマンドモードが有効の時は、不定形で正方形（縦と横で同サイズ）に設定すると、印刷方向が「縦」「横」の何れの場合に設定しても同じ方向に印刷されます。

❖ 余白

用紙の、データが印刷される部分を「印刷領域」、印字領域から用紙の端までの距離を「余白」といいます。用紙には、次のように上下左右の余白が設定されています。

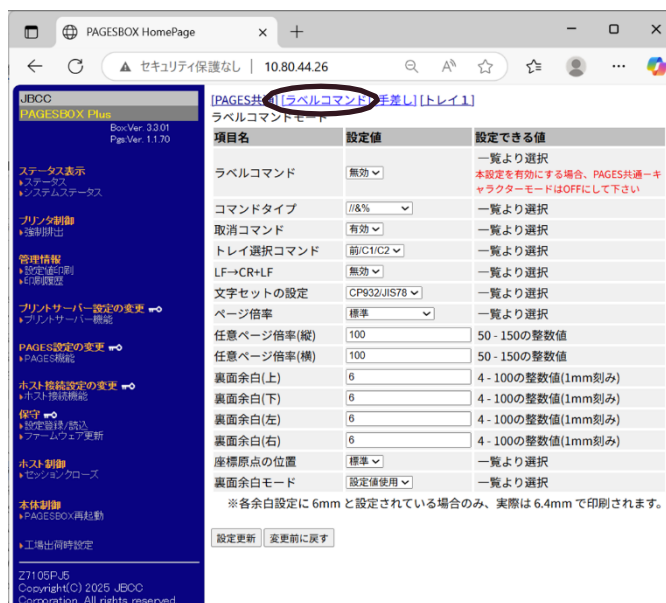
4 ~100mmで設定します。ただし6mmと設定されている場合のみ、実際は6.4mmで印刷されます。



ラベルコマンド

ラベルコマンドモードを有効にした際に有効となる設定項目です。工場出荷設定は無効となっています。

※本設定を有効にする場合、[PAGES共通]-[キャラクターモード]はOFFにしてください。



項目	説明	工場出荷設定
ラベルコマンド	ラベルコマンドモードを有効にするかどうかを設定します。 ※本設定を有効にする場合、[PAGES共通]-[キャラクターモード]はOFFにしてください。	無効
コマンドタイプ	フォーム・オーバーレイ、バーコード印刷などを使用するための「ラベルコマンド」の方式を選択します。	//&%
取消コマンド	取消コマンドを有効にするかどうかを設定します。	有効
トレイ選択コマンド	トレイ・コマンド（ESX46）を設定します。	前/C1/C2
LF → CR+LF	LF（改行）データをCR（復帰）+LFデータに変換する機能を設定します。	無効
文字セットの設定	半角文字のコードセットを設定します。	CP932/JIS78
ページ倍率	ページの拡大・縮小を設定します。	標準
任意ページ倍率（縦）	縦方向の任意倍率を設定します。	100（%）
任意ページ倍率（横）	横方向の任意倍率を設定します。	100（%）
裏面余白（上）	両面印刷における裏面の上下左右の余白を1mm単位で設定します。	6.4（mm）
裏面余白（下）		6.4（mm）
裏面余白（左）		6.4（mm）
裏面余白（右）		6.4（mm）
座標原点の位置	コマンド（ESX-50）による座標原点の位置を設定します。	標準
裏面余白モード	両面印刷時の裏面の余白モードを設定します。	設定値使用

❖ ラベルコマンドモード

ラベルコマンドに対応した『ラベルコマンドモード』を有効にするかどうかを設定します。

※本設定を有効にする場合、[PAGES共通]-[キャラクターモード]はOFFにしてください。

有効 ラベルコマンドモードを選択します

無効 通常のPAGESを選択します



ラベルモードを有効にした場合、下記用紙は使用できません。必ず横置きにセットしてください。

A4縦、B5縦、A5縦

❖ コマンドタイプ

フォーム・オーバーレイ、バーコード印刷などを使用するための「ラベルコマンド」の方式を選択します。選択した文字列を制御コードとして解釈します。

//&% 「//,&%」文字列を制御コードとして解釈します

// 「//」文字列を制御コードとして解釈します

&% 「&%」文字列を制御コードとして解釈します

使用しない 「//」「,&%」文字列は、そのまま文字データとして解釈します

❖ 取消コマンド

取消コマンドを有効にするかどうかを設定します。

本プリンターは、制御コードの「取消」(18)Hコマンドを受けると、プリンター内部の未印字データを全て消去しますが、一部のソフトウェア(Lotus 1-2-3)には、印刷データの終わりに「取消コマンド」を送るものがあり、その場合、最終ページの印刷が正常に行われません。

このような場合は、「取消コマンド」を“ムコウ”に設定すると、「取消コマンド」を無視して、印刷が終了するまでプリンター内へデータを残すことができます。

有効 取消コマンドを有効とします

無効 取消コマンドを無視します

❖ トレイ選択コマンド

トレイ・コマンド(ESX46)を設定します。

アプリケーションにより上下2つのトレイのみの指定になるプログラムがあります。このとき、アプリケーションで「カセット2」「カセット3」を使用する場合には、“C1/C2”、または“C2/C3”を設定することにより使用可能となります。

前/C1/C2 『上トレイ』を前面トレイ、『下トレイ』を給紙カセット1に割当てます

C1/C2 『上トレイ』を給紙カセット1、『下トレイ』を給紙カセット2に割当てます

C2/C3 『上トレイ』を給紙カセット2、『下トレイ』を給紙カセット3に割当てます

❖ L F → C R + L F

LF(改行)データをCR(復帰)+LFデータに変換する機能を設定します。この機能は、UNIXシステムなど行端でCRが付加されないシステムで使用します。

無効 そのままLFデータとして処理します

有効 LFをCR/LFに変換します

❖ 文字セットの設定

半角文字は、2種類のコードセットが使用できます。

CP932/JIS78 半角文字はコードページ932、漢字はJIS78のセットを使用します

CP942/JIS78 半角文字はコードページ942、漢字はJIS78のセットを使用します

CP932/JIS90 半角文字はコードページ932、漢字はJIS90のセットを使用します

CP942/JIS90 半角文字はコードページ942、漢字はJIS90のセットを使用します

❖ ページ倍率

ページの拡大・縮小を設定します。

標準 「拡大／縮小」をしないで、標準の大きさに印刷します

帳票 連続用紙（縦11インチ、横15インチ）用に設計されたプログラムを変更することなく、現在使用している用紙サイズに「拡大／縮小」して印刷します75%標準で印刷されたものに比べ、「75%縮小」して印刷します

A4→A3/B5→B4 “A4 / B5” で印刷されるものを、「A3 / B4に拡大」して印刷します（141%）

A4→B4 “A4” で印刷されるものを、「B4に拡大」して印刷します（122%）

B5→A4/B4→A3 “B5 / B4” で印刷されるものを、「A3 / A4に拡大」して印刷します（115%）

A4→B5/A3→B4 “A4 / A3” で印刷されるものを、「B5 / B4に縮小」して印刷します（86%）

B4→A4 “B4” で印刷されるものを、「A4に縮小」して印刷します（81%）

A3→A4/B4→B5 “A3 / B4” で印刷されるものを、「A4 / B5に縮小」して印刷します（70%）

二つ折り 1枚の用紙を2ページに分けて（用紙中央より左右に分ける）印刷します

任意倍率 指定した倍率で、「拡大／縮小」して印刷します



二つ折りについて

この設定を選択した場合、左右の余白は、1ページ目は通常通りですが、2ページ目は左右余白が逆になります。これは、二つ折りにしたときの「綴じしろ」を考慮したものです。

❖ 任意ページ倍率（縦）

縦方向の任意倍率を1%単位で設定します。（50 - 150%）

❖ 任意ページ倍率（横）

横方向の任意倍率を1%単位で設定します。（50 - 150%）

❖ 裏面余白

両面印刷における裏面の「上／下／左／右」の各マージンを1mm単位で設定します。（4mm - 100mm）

ただし6mmと表示がある時のみ6.4mmとします。

第4章 ネットワークに関する設定

本章ではATPS Manager、Webブラウザを利用して、詳細なネットワーク設定を行う方法について説明します。

ATPS Managerで設定する

総合ユーティリティ「ATPS Manager」は、本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やプリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能を利用することができます。



- ATPS Managerを使用する場合、パソコンにTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。
- 使用環境および機種によっては、ATPS Managerに表示される内容が異なります。
- 「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」-「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外してください。
- WiFi等の使用環境によってATPS ManagerでPAGESBOXが正しく検出されない場合があります。その場合は有線LAN等の安定した環境でご使用ください。

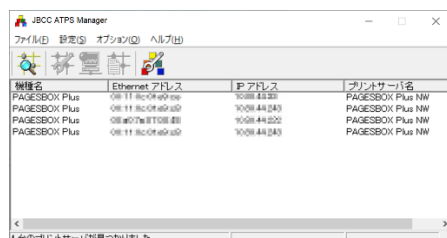
JBCC ATPS Manager			
ファイル(F) 設定(S) オプション(O) ヘルプ(H)			
機種名	Ethernet アドレス	IP アドレス	プリントサーバ名
PAGESBOX Plus	08:00:11:8c:07a0:00:00	10.0.0.44.200	PAGESBOX Plus NW
PAGESBOX Plus	08:00:11:8c:07a0:00:00	10.0.0.44.240	PAGESBOX Plus NW
PAGESBOX Plus	08:00:11:8c:07a0:00:00	10.0.0.44.200	PAGESBOX Plus NW
PAGESBOX Plus	08:00:11:8c:07a0:00:00	10.0.0.44.240	PAGESBOX Plus NW

< 4 台のプリントサーバが見つかりました。 >

ATPS Managerで本製品を検索する

ATPS Managerを起動する

1. JBCC ホームページからATPS Managerをダウンロードし、圧縮ファイルを展開後、Adsetup.exeを実行してインストールを実行します。実行後、ATPS Managerを起動します。
2. ATPS Managerが起動します。



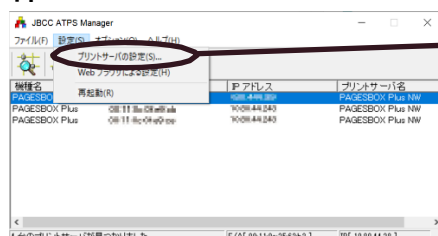
IPアドレスを設定する

IPアドレスの設定を手動で行います。



本設定を行う前に、本製品のEthernetアドレスを確認してください。Ethernetアドレスは、本製品の背面のラベルに記載されています。（例：00:A0:7A:0B:00:01）

1.



ATPS Managerのメニューバーから「設定」－「プリントサーバの設定」を選択してIPアドレス設定画面を開いてください。（IPアドレスが「0.0.0.0」の場合のみ直接、IPアドレス設定画面が表示されます）

2.

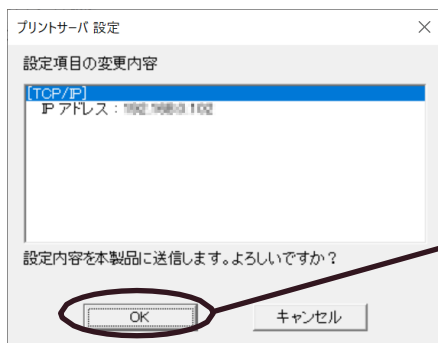


設定する製品のEthernetアドレスが一致していることを確認し、設定するIPアドレスを入力してください。

OK

をクリックしてください。

3.



設定したIPアドレスの確認画面が表示されます。

OK

をクリックしてください。

4.



設定したIPアドレスを有効にするために本製品を再起動します。

はい

をクリックしてください。



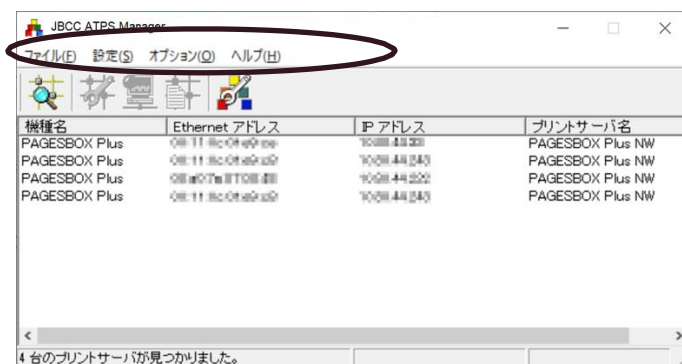
重要

使用環境によっては、再起動直後に通信エラーが発生する場合があります。その時は時間を置いてから検索ボタンでPAGESBOXを検索してください。PCと異なるセグメントのIPアドレスをPAGESBOXに設定した場合はATPS Managerから表示されなくなります。

ATPS Managerの[オプション] - [環境設定]で設定したIPアドレスを登録するか、もしくはPAGESBOXにIPアドレス設定後はWebブラウザをご使用ください。

ATPS Managerの機能

ATPS Managerメニュー構成

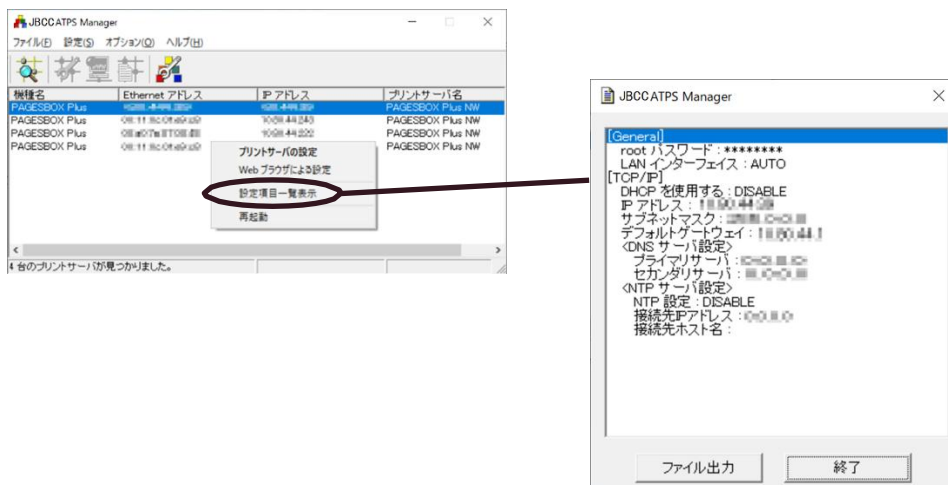


メニュー	項目	説明
ファイル	検索	ネットワーク上の本製品を検索
	終了	ATPS Managerを終了
設定	プリントサーバの設定	本製品の各種設定
	Webブラウザの設定	本製品のホームページを起動
	再起動	本製品の再起動
オプション	環境設定	ATPS Managerの環境設定
ヘルプ	バージョン表示	ATPS Managerのバージョンを表示

設定項目一覧表示

検出されたPAGESBOXを右クリックして「設定項目一覧表示」を選択すると、本製品に設定したTCP/IP の各項目の設定値が一覧で表示されます。

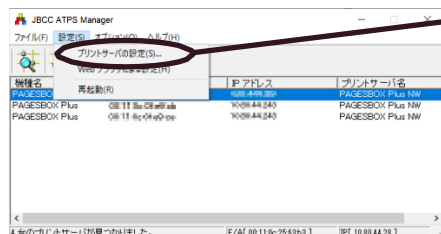
「ファイル出力」をクリックすると、設定内容をテキストファイルに出力し、管理することができます。



プリント・サーバーの設定

ATPS Managerの「設定」－「プリントサーバの設定」で本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。

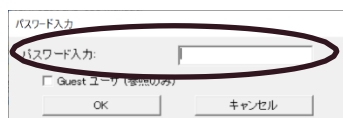
1.



設定を行う本製品を指定し、ATPS Managerのメニューバーから「設定」－「プリントサーバの設定」を選択してください。



- 本製品にパスワードが設定されている場合は、「パスワード入力」画面が表示されます。
- 「Guestユーザ」チェックボックスをチェックした場合は設定情報を確認することはできませんが、設定内容の変更は行えません。



パスワード入力画面

2.



左の画面が表示されます。設定を行うタブを選択します。



タブが全て表示されていない場合は、スクロールボタンで表示させてください。

Generalの設定



タブ	項目	説明	工場出荷設定
General	rootパスワード	製品の管理パスワードをA S C I I 文字列（7 文字以内）で設定します。このパスワードはATPS Manager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
	rootパスワード変更	パスワードの変更を行います。	—
	LANインターフェイス	物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO

TCP/IPの設定



タブ	項目	説明	工場出荷設定	
TCP/IP	DHCPを使用する	DHCPプロトコルを有効（ENABLE）にします。	DISABLE	
	IPアドレス	本製品のIPアドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0	
	サブネットマスク	本製品のサブネット・マスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じたサブネット・マスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0	
	デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルト・ゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0	
	DNS	プライマリサーバ	DNSサーバー（プライマリ）のアドレスを設定します。NTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		セカンダリサーバ	DNSサーバー（セカンダリ）のアドレスを設定します。NTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
	NTP	NTP設定	NTP（時刻同期プロトコル）を有効（IP Address / Host Name）にします。IPアドレスを直接入力するか、ホスト名を入力するかを選択することができます。NTPを設定することにより、印刷ログに日時が表示できるようになります。	DISABLE
		接続先 IPアドレス	NTPサーバーのアドレスを設定します。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
		接続先 ホスト名	NTPサーバーのホスト名を設定します。	（空白）

Webブラウザで設定する

Webブラウザを利用して本製品の詳細なネットワークの設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や初期値印刷、プリンター・ステータス・モニターなどの便利な機能が利用可能です。

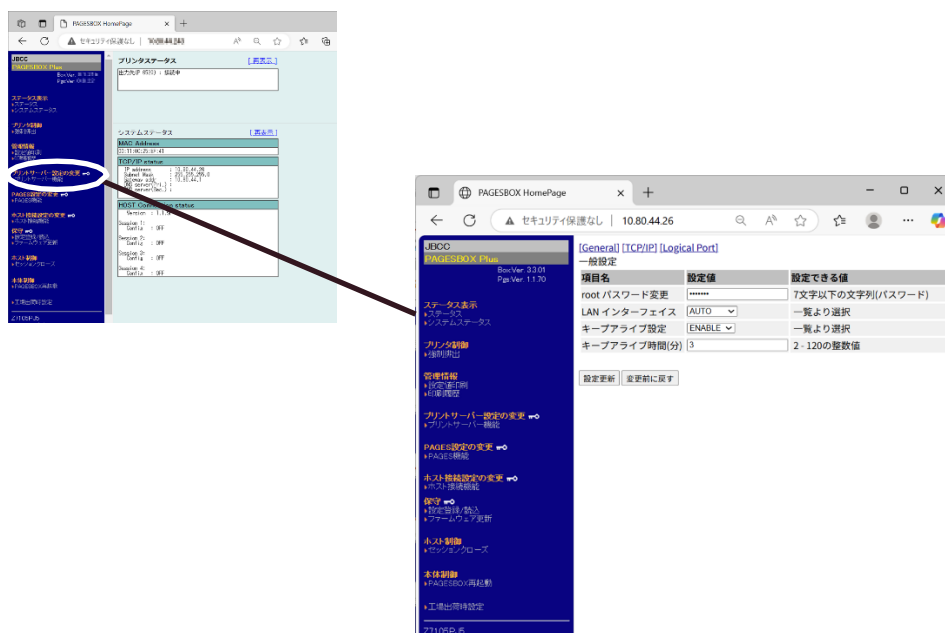


Webブラウザを利用する場合、第2章 Webブラウザによる設定を参照してください。
Webブラウザによって多少表示が異なる場合があります。

Webブラウザからプリントサーバー機能の画面を表示する

Webブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。

設定項目に関する詳細は、本章の各項目を参照してください。



一般設定

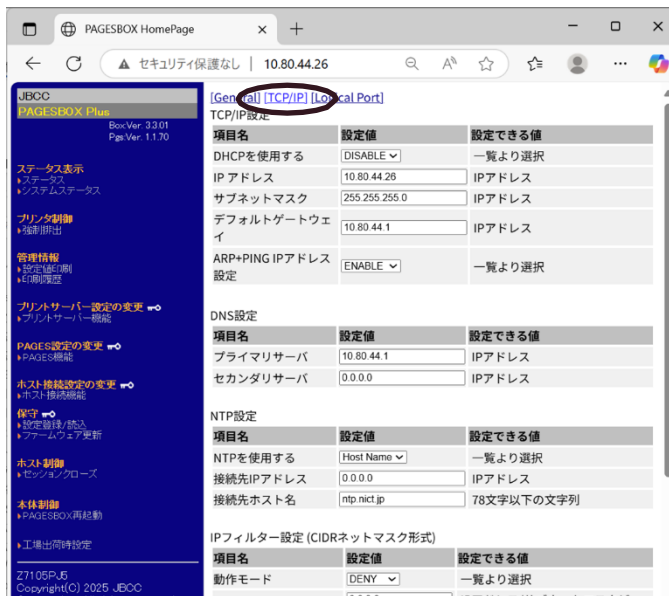
本製品のパスワード変更や、ネットワークの基本的な設定を行います。



項目	説明	工場出荷設定
rootパスワード変更	製品の管理パスワードをASCII文字列（7文字以内）で設定します。このパスワードはATPS Manager、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
LANインターフェース	物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。	AUTO
キープアライブ設定	キープアライブパケットの送出動作の有無を設定します。 DISABLEが設定された場合は、キープアライブパケットの送出動作を行いません。	DISABLE
キープアライブ時間（分）	キープアライブパケットの送出動作を「キープアライブ時間」で設定された時間の間隔で行ないます。（設定値：2 ～120）。	3（分）

TCP/IP設定

TCP/IPに関連する設定を行います。

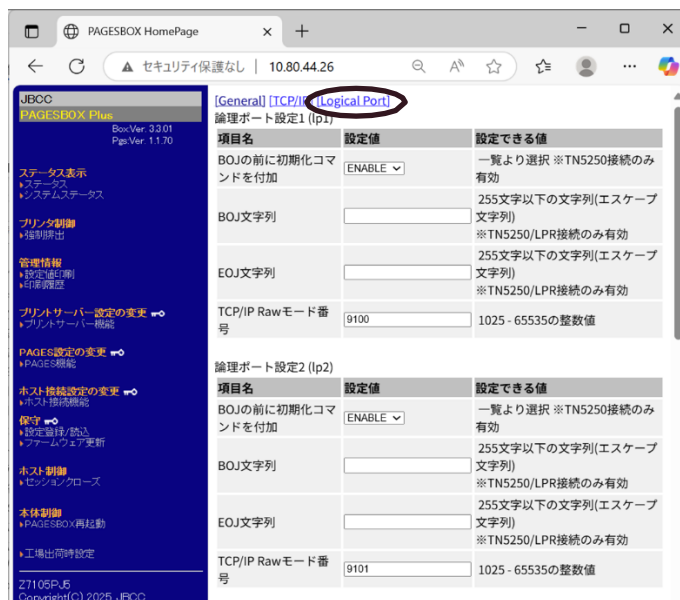


項目	説明	工場出荷設定
TCP/IP設定		
DHCPを使用する	DHCPプロトコルを有効（ENABLE）にします。DHCPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。	DISABLE
IPアドレス	本製品のIPアドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	本製品のサブネット・マスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じたサブネット・マスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルト・ゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」は無効になります。	0.0.0.0
ARP+PING IPアドレス設定	ARP+PINGによるIPアドレスの設定を無効（DISABLE）にします。	ENABLE

項目	説明	工場出荷設定
DNS設定		
プライマリサーバ	DNSサーバー（プライマリ）のアドレスを設定します。NTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	DNSサーバー（セカンダリ）のアドレスを設定します。NTPサーバー名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
NTP設定		
NTPを使用する	NTPプロトコルを有効（ENABLE）にします。NTPプロトコルを有効にすることにより印刷履歴に正しい時間が表示されます。	DISABLE
接続先IPアドレス	NTPサーバーのアドレスを設定します。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	0.0.0.0
接続先ホスト名	NTPサーバーのホスト名を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバーの設定が必要です。	なし
IPフィルター設定（CIDRネットマスク形式）		
動作モード	IPフィルターの動作を設定します。設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
フィルタ #0 - 9 アドレス	IPフィルターの範囲を設定します。フィルターしたいIPアドレスの範囲は10組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレスを「0.0.0.0 / 32」にしてください。	0.0.0.0 / 32

論理ポート

論理ポートとは、ネットワークと物理的なプリンターとの間に設定された仮想的なプリンターです。この機能を使うことで、たとえ物理的にはプリンターが1台しかなくても、6つまでの論理プリンターに各々別の属性を与えて、場合に応じて使い分けることができます。



項目	説明	工場出荷設定
BOJ の前に初期化コマンドを付加	印刷データの最初に初期化コマンドを追加します。本設定は、RAWポート印刷では無効です。	ENABLE
BOJ文字列	直接出力ポート（lpポート）に出力する前に、プリンターに送出する文字列（最大255バイト）を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
EOJ文字列	直接出力ポート（lpポート）に出力した後に、プリンターに送出する文字列（最大255バイト）を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
TCP/IP Rawモード番号	Rawモード印刷にて、各印刷ポートが使用するネットワークのポート番号を設定します（ 設定値：1025 ～ 65535）。	port1 : 9100 port2 : 9101 : : port6 : 9105

印刷ジョブ前後の文字列送信機能の使用方法

ここでは、各印刷ジョブ前後にプリンター制御コマンド等の文字列を送信する方法について解説します。この指定は、各論理プリンターで個別に行うことができます。すべての文字列は、16進数値で記述します。

1台のプリンターで複数種類の用紙に印刷する場合、各論理プリンターに対応するコマンドを設定しておけば、出力時に論理プリンターを切り換えるだけでそれらの印刷が可能になります。論理プリンターはlp1～lp6があり、下記の設定例のようにBOJ文字列、EOJ文字列のパラメーターがあります。



- 設定可能な文字列は、最大255バイトです。
書式文字列で指定した場合、4文字で1バイトと換算します。（例；¥x1B = 1バイト）
- 「¥」（円）記号は、お使いの環境によっては「\」（バックスラッシュ）記号で表示されます。
- ラベルコマンドも指定可能です。コマンドの詳細はPAGESBOXラベルコマンド・リファレンスを参照してください。

以降で、設定例を説明します。

(1) トレイ1選択

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x00¥x00¥x00

(2) 手差しトレイ選択

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x01¥x00¥x00

(3) A4, 横

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x13¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x03

(4) A4, 縦

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x13¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x00

(5) B4, 横

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x12¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x03

(6) B4, 縦

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x12¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x00

(7) 連帳→ A4, 横

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x13¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x51¥x00¥x01¥x03
¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x03

(8) 連帳→ B4, 横

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x12¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x51¥x00¥x01¥x02
¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x03

(9) B4 → A4, 横

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x46¥x00¥x05¥x00¥x00¥x13¥x00¥x00¥x1B¥x7E¥x51¥x00¥x01¥x05
¥x1B¥x7E¥x50¥x00¥x01¥x03

(10) 両面印刷

末尾に下記のコマンドを追加することで両面印刷が可能になります。

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x3B¥x00¥x04¥x00¥x00¥x01¥x01（長編綴じ）

BOJ文字列：¥x1B¥x7E¥x3B¥x00¥x04¥x00¥x00¥x02¥x01（短編綴じ）

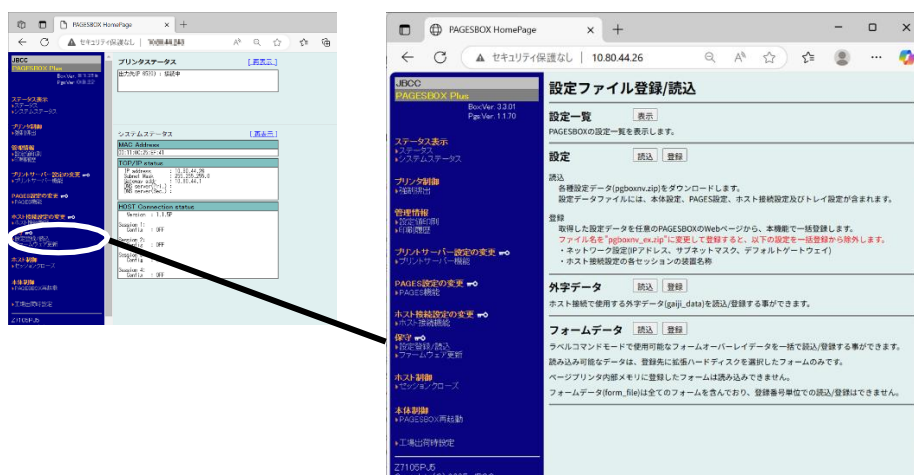
第5章 保守メニュー (Z7105PJ0/Z7105PJ5のみ)

本章の本機能はZ7105PJ0/7105PJ5のみの機能となります。

本章ではWebブラウザを利用して、設定ファイル読込/登録や設定値の一覧表示を行う方法について説明します。ファームウェア更新については、別紙の「ファームウェア更新手順」をご参照ください。

設定ファイルの登録/読込

Webブラウザに表示されている「読込」ボタンを押すことでPAGESBOXの各種データをダウンロードし、ダウンロードしたデータを「登録」ボタンから任意のPAGESBOXに設定することが出来ます。



項目		説明
設定一覧	表示	PAGESBOXの設定をテキストで一覧表示します。
設定	読込	PAGESBOXの設定をダウンロードします。詳細は本項の「設定ファイルの項目」を参照してください。 ファイル名「pgboxnv.zip」
	登録	読込でダウンロードした設定ファイルをPAGESBOXに一括登録します。 ファイル名を「pgboxnv_ex.zip」に変更することで、ネットワーク設定とホスト接続設定の各セッションの装置名称を除いた設定をPAGESBOXに一括登録します。 登録方法は本項の「設定ファイルの登録」を参照してください。
外字データ	読込	ホスト接続で使用している外字データをダウンロードします。ファイル名「gaiji_data」
	登録	外字データ「gaiji_data」をPAGESBOXに登録します。
フォームデータ	読込	ラベルコマンドモードで使用しているフォームデータを一括でダウンロードします。読み込み可能なデータは、登録先に拡張ハードディスクを選択したフォームのみです。ファイル名「form_file」
	登録	読込でダウンロードしたフォームデータ「form_file」をPAGESBOXに一括登録します。登録番号ごとの登録はできません。

設定ファイルの項目

ダウンロードしたファイルは解凍不要です。
圧縮ファイルには、以下の4つの設定ファイルに分かれて設定値が保存されます。

main.nv	プリントサーバー機能の設定
pgs.nv	PAGES機能-PAGES共通の設定
tray.inf	PAGES機能-手差しおよび各トレイの設定
hostall.nv	ホスト接続機能の設定（Z7105PJ5のみ）
lp[1-6]_boj	論理ポートのBOJ/EOJが設定されている場合のみつくられるファイル（ファイル数最大24個）
lp[1-6]_eoj	

設定値のうちグレーの項目は、ダウンロードした設定ファイルの名前を「pgboxnv_ex.zip」に変更することで、一括登録から除外できる項目です。（「設定ファイルの登録」-手順1. 参照）

main.nv に保存される設定値

<< 一般設定 >>

LAN インターフェイス : AUTO
キーブライプ設定 : ENABLE
キーブライプ時間(分) : 4

<< TCP/IP設定 >>

DHCPを使用する : DISABLE
IP アドレス : 0.0.0.0
サブネットマスク : 0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0
ARP+PING IPアドレス設定 : ENABLE

<< DNS設定 >>

プライマリサーバ : 0.0.0.0
セカンダリサーバ : 0.0.0.0

<< NTP設定 >>

NTPを使用する : IP Address
接続先IPアドレス : 10.2.48.102
接続先ホスト名 :

<< IPフィルター設定 >>

動作モード : DENY
フィルタ #0 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #1 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #2 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #3 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #4 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #5 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #6 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #7 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #8 アドレス : 0.0.0.0 / 32
フィルタ #9 アドレス : 0.0.0.0 / 32

<< 論理ポート設定 >>

論理ポート設定1 (lp1)
BOJの前に初期化コマンドを付加 : ENABLE
BOJ文字列 :
EOJ文字列 :
TCP/IP Rawモード番号 : 9200

論理ポート設定2 (lp2)

BOJの前に初期化コマンドを付加 : ENABLE
BOJ文字列 :
EOJ文字列 :
TCP/IP Rawモード番号 : 9101

論理ポート設定3 (lp3)

BOJの前に初期化コマンドを付加 : ENABLE
BOJ文字列 :
EOJ文字列 :
TCP/IP Rawモード番号 : 9102

論理ポート設定4 (lp4)

BOJの前に初期化コマンドを付加 : ENABLE
BOJ文字列 :
EOJ文字列 :
TCP/IP Rawモード番号 : 9103

論理ポート設定5 (lp5)

BOJの前に初期化コマンドを付加 : ENABLE
BOJ文字列 :
EOJ文字列 :
TCP/IP Rawモード番号 : 9104

論理ポート設定6 (lp6)

BOJの前に初期化コマンドを付加 : ENABLE
BOJ文字列 :
EOJ文字列 :
TCP/IP Rawモード番号 : 9105

pgs. nv に保存される設定値

<< PAGES機能 >>

[PAGES共通設定]

給紙部オプション : 標準
優先給紙トレイ : トレイ 1
タイムアウト : OFF
タイムアウト時間 (秒) : 10
漢字コード : JIS90
両面印刷 : OFF
両面とじ方向 : 長辺
両面白紙追加 : しない
ページ倍率 : 等倍 (100%)
詳細倍率 (%) : 50
コピー枚数 : 1
トナーセーブ : OFF
全角書体 : 明朝
データ折り返し位置 : 用紙サイズ
ANK フォント : 全角書体設定に従う
キャラクターモード : OFF

[ラベルコマンド]

ラベルコマンド : 無効
コマンドタイプ : // & %
取消コマンド : 有効
トレイ選択コマンド : 前 / C1 / C2
LF → CR + LF : 無効
文字セットの設定 : CP932 / JIS78
ページ倍率 : 標準
任意ページ倍率 (縦) : 100
任意ページ倍率 (横) : 100
裏面余白 (上) : 6
裏面余白 (下) : 6
裏面余白 (左) : 6
裏面余白 (右) : 6
座標原点の位置 : 標準
裏面余白モード : 設定値使用

try. inf に保存される設定値

[手差しトレイ]

用紙サイズ : A4横
不定形サイズ幅 (mm) : 210
不定形サイズ長さ (mm) : 297
印刷方向 : 縦
上余白 (mm) : 6
下余白 (mm) : 6
左余白 (mm) : 6
右余白 (mm) : 6

[トレイ 1]

用紙サイズ : A4横
不定形サイズ幅 (mm) : 210
不定形サイズ長さ (mm) : 297
印刷方向 : 縦
上余白 (mm) : 6
下余白 (mm) : 6
左余白 (mm) : 6
右余白 (mm) : 6

[トレイ 2]

用紙サイズ : A4横
不定形サイズ幅 (mm) : 210
不定形サイズ長さ (mm) : 297
印刷方向 : 縦
上余白 (mm) : 6
下余白 (mm) : 6
左余白 (mm) : 6
右余白 (mm) : 6

[トレイ 3]

用紙サイズ : A4横
不定形サイズ幅 (mm) : 210
不定形サイズ長さ (mm) : 297
印刷方向 : 縦
上余白 (mm) : 6
下余白 (mm) : 6
左余白 (mm) : 6
右余白 (mm) : 6

[トレイ 4]

用紙サイズ : A4横
不定形サイズ幅 (mm) : 210
不定形サイズ長さ (mm) : 297
印刷方向 : 縦
上余白 (mm) : 6
下余白 (mm) : 6
左余白 (mm) : 6
右余白 (mm) : 6

hostall.nv に保存される設定値 (Z7105PJ5のみ)

<< ホスト接続共通設定 >>

ホスト接続共通設定

```
セッション1      : OFF
セッション2      : OFF
セッション3      : OFF
セッション4      : OFF
セッションタイムアウト(秒) : 0
内部トレース     : OFF
```

<セッション1>

[TN5250]

```
接続先          : 0.0.0.0
接続ポート番号  : 23
自動再接続      : ON
装置名称        :
メッセージ待ち行列 : QSYSOPR
メッセージライブラリ : *LIBL
ホストコードページ : 939
自動改行        : ON
トラクタモード   : OFF
SI/SOの拡大動作  : OFF
ATRNモード      : Subcommand
出力先印刷ポート : lp1
ジョブ毎設定     : ON
機器登録外字の使用 : OFF
ファンクション   : 0x0000
```

<セッション2>

[TN5250]

```
接続先          : 0.0.0.0
接続ポート番号  : 23
自動再接続      : ON
装置名称        :
メッセージ待ち行列 : QSYSOPR
メッセージライブラリ : *LIBL
ホストコードページ : 939
自動改行        : ON
トラクタモード   : OFF
SI/SOの拡大動作  : OFF
ATRNモード      : Subcommand
出力先印刷ポート : lp1
ジョブ毎設定     : ON
機器登録外字の使用 : OFF
ファンクション   : 0x0000
```

<セッション3>

[TN5250]

```
接続先          : 0.0.0.0
接続ポート番号  : 23
自動再接続      : ON
装置名称        :
メッセージ待ち行列 : QSYSOPR
メッセージライブラリ : *LIBL
ホストコードページ : 939
自動改行        : ON
トラクタモード   : OFF
SI/SOの拡大動作  : OFF
ATRNモード      : Subcommand
出力先印刷ポート : lp1
ジョブ毎設定     : ON
機器登録外字の使用 : OFF
ファンクション   : 0x0000
```

<セッション4>

[TN5250]

```
接続先          : 0.0.0.0
接続ポート番号  : 23
自動再接続      : ON
装置名称        :
メッセージ待ち行列 : QSYSOPR
メッセージライブラリ : *LIBL
ホストコードページ : 939
自動改行        : ON
トラクタモード   : OFF
SI/SOの拡大動作  : OFF
ATRNモード      : Subcommand
出力先印刷ポート : lp1
ジョブ毎設定     : ON
機器登録外字の使用 : OFF
ファンクション   : 0x0000
```

設定ファイルの登録

ダウンロードした設定ファイルの登録手順は以下の通りです。

1. PAGESBOXのWebページ [保守 設定登録/読込] - 画面右[設定 読込]ボタンから設定ファイルをダウンロードします。



ダウンロードした設定ファイルの名前を「pgboxnv_ex.zip」に変更することで、登録の際に、以下の設定は一括登録で上書きせずに除外します。

- ・ネットワーク設定(DHCP設定、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ)
- ・ホスト接続設定の各セッションの装置名称

2. 設定を登録したいPAGESBOXのWebページを表示します。
詳細は第2章「本製品のWebページを表示する」をご参照ください。
3. Webページ左メニューの[保守 設定登録/読込]
画面右の [設定 登録ボタン] - [ファイルの選択] で手順1. で作ったファイルを選択し、[登録] をクリックします。
4. PAGESBOXを再起動します。

外字データ/フォームデータの登録

外字データ/フォームデータの読込/登録手順は以下の通りです。
以下は外字データの読み込み/登録手順です。フォームデータも同様の手順になります。

1. PAGESBOXのWebページ [保守 設定登録/読込] - 画面右 [外字データ 読込] ボタンから外字データ/フォームデータのファイルをダウンロードします。



読み込み可能なデータは、登録先に拡張ハードディスクを選択したフォームのみです。
ページプリンタ内部メモリに登録したフォームは読み込みできません。
フォームデータ(form_file)は全てのフォームを含んでおり、登録番号単位での読込/登録はできません。

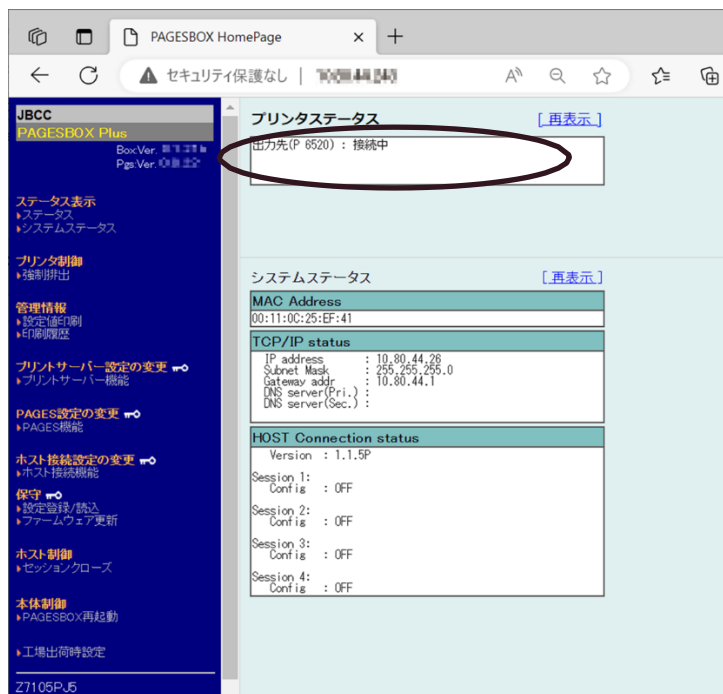
2. 設定を登録したいPAGESBOXのWebページを表示します。
詳細は第2章「本製品のWebページを表示する」をご参照ください。
3. Webページ左メニューの [保守 設定登録/読込]
画面右の [外字データ 登録ボタン] - [ファイルの選択] で手順1. で作ったファイルを選択し、[登録] をクリックします。
4. PAGESBOXを再起動します。

第6章 メッセージ集

本章では、Webページで表示するメッセージについて説明します。



TN5250接続で表示されるメッセージについては、TN5250機能設定ガイドを参照してください。



プリンター状態／ PAGESBOXの通常状態について

本製品が接続しているプリンターの状態、及びPAGESBOXで表示される通常表示される内容です。接続されているプリンターの型番に続けて、表示されます。

PAGESBOXのエラー状態について

PAGESBOXがエラーを検出した場合に表示される内容です。

表示内容	説明
エラー：拡張メモリ (6F0)	PAGESBOXの拡張メモリでエラーを検出した場合に表示されます。ACアダプターを抜いて電源を切り、再度電源を入れても同じ状態になる時は、販売店に連絡してください。
エラー：RAWポート重複 (6F5)	論理ポートの論理ポート番号が正しくない場合に表示されます。正しいポート番号を設定してください。
エラー：内部エラー (6Fx)	PAGESBOXの内部でエラーを検出した場合に表示されます。ACアダプターを抜いて電源を切り、再度電源を入れても同じ状態になる時は、販売店に連絡してください。
エラー：ラベルコマンド／キャラクターモード同時設定 (6F6)	[PAGES共通]-[キャラクターモード]と、「ラベルコマンド」は同時に設定できません。どちらかの設定をOFFにしてください。

PAGESBOXのワーニング状態について

ラベルコマンドモードで表示される内容です。この表示は本製品を再起動するまで表示されます。継続して印刷は可能な状態です。

表示内容	説明
フォーム登録の内部メモリー不足 (6A0)	登録しようとしたフォーム・オーバーレイ・データが、プリンターの内部メモリの空き容量を越えています。
指定フォームがありません (6A1)	指定した登録番号のフォーム・オーバーレイ・データが、プリンターの内部メモリに登録されていません。
フォーム登録の拡張メモリー不足 (6A4)	拡張ハードディスクへ登録しようとしたフォーム・オーバーレイ・データの容量が、登録可能な最大容量を超えています。
指定フォームがありません (6A5)	指定した登録番号のフォーム・オーバーレイ・データが、拡張ハードディスクに登録されていません。
ワーニング (PJ) : (6A6)	内部メモリのフォーム・オーバーレイ・データの中で、指定した登録番号のフォーム・オーバーレイ・データが破壊されています。
ワーニング (PJ) : (6A7)	恒久保存領域に登録されているフォーム・オーバーレイ・データの中で、指定した登録番号のフォーム・オーバーレイ・データが破壊されています。
ワーニング (PJ) : (6A8)	フォーム・オーバーレイ・データの印刷、またはフォーム・オーバーレイを実行指示したとき、フォーム・オーバーレイ・データで指定している用紙サイズと、使用している給紙カセットの用紙サイズが異なっています。

第7章 ご使用上の注意点

本章では、本製品を使用する上で従来機種との相違点を中心に説明します。



各機種の詳細な仕様や操作方法については、それぞれのマニュアルを参照してください。

従来機種との相違点

下の表は、PAGESBOXをご使用になる上で、第1章から第6章までに記載されていない従来機種との違いによる留意すべき点です。

操作性の相違点

項目	558X/ E870 / E940	IP1000J / Z70XX	PAGESBOX
設定方法の違い	操作パネルで設定します。	操作パネルで設定します。	Webメニューで設定します。
給紙部選択方法の違い	操作パネルの[給紙選択]キーにより選択します。	操作パネルメニューの[給紙トレイ選択]により選択します。	[優先給紙トレイ]に依存します。
プリンター起動時に選択される給紙部の設定方法	操作パネルの[給紙選択]キーと[設定]キーを同時に押下することで設定します。	操作パネルメニューの[優先給紙トレイ選択]メニューにより選択します。	Webメニューの[PAGES設定]-[PAGES共通]-[優先給紙トレイ]で選択します。
自動トレイ切替の設定方法	操作パネルメニューの[自動トレイ切替]メニューにより選択します。	操作パネルメニューの[自動トレイ切替]メニューにより選択します。	プリンター本体の操作パネルメニューの[自動トレイ選択]メニューにより選択します。
強制印刷方法	操作パネルの[強制印刷]キーを押下することで実行します。	操作パネルの[強制印刷]キーを押下することで実行します。	Webメニューの[強制印刷]を選択することで実行します。

その他の相違点

項目	558X/ E870 / E940	IP1000J / Z70XX	PAGESBOX
解像度の違い	画像データは360dpiで処理され出力されます。これらの製品のプリンター・ドライバーが出力する360dpiのイメージデータは解像度変換されることなく、そのまま出力されます。	画像データは600dpiで処理され出力されます。これらの製品のプリンター・ドライバーが出力する360dpiのイメージデータは600dpiに解像度変換され出力されます。この360dpi→600dpiの解像度変換によりイメージ品質が低下する場合があります。	画像データは600dpiで処理され出力されます。これらの製品のプリンター・ドライバーが出力する360dpiのイメージデータは600dpiに解像度変換され出力されます。この360dpi→600dpiの解像度変換によりイメージ品質が低下する場合があります。
データストリームとその選択方法	ポート毎に設定されている[エミュレーション]が選択されます。	[優先エミュレーション]に設定されているデータストリームが選択されます。	データストリームはPAGESのみで、選択できません。
プリンター・ドライバーの違い	標準でA/PDLプリンター・ドライバーを同梱しています。	標準でRPCSプリンター・ドライバーを同梱しています。PAGESドライバーはダウンロードして使用できます。	プリンター本体に標準同梱されているRPCS用プリンター・ドライバーは使用できません。RPCSプリンター・ドライバーを使用する場合は、プリンターを直接ネットワークに接続してPAGESBOXを経由せずにご使用ください。PAGESBOXを経由させる場合は、JBCCホームページからPAGESドライバーをダウンロードして使用することで可能です。

項目	558X/ E870 / E940	IP1000J / Z70XX	PAGESBOX
外字登録の違い	標準にて188文字、オプション装着時1880文字登録可能です。	ハードディスクオプション装着にて1880文字登録可能です。	標準で1880文字登録可能です。
設定内容の保存方法について	恒久設定と一時設定の2種類の保存方法があります。	恒久設定のみがあります。一時設定はありません。	恒久設定のみがあります。一時設定はありません。
SNMPについて	「SNMPプロトコルを使用したプリンタステータスの管理」に対応	「SNMPプロトコルを使用したプリンタステータスの管理」に対応	「SNMPプロトコルを使用したプリンタステータスの管理」には対応していません

PAGESコマンドのサポートについて

PAGES コマンドのサポート PAGES コマンドの詳しい解説は、別売のPAGESコマンド解説書 (N:SA18-7268) を参照下さい。ここではPAGESBOXにおける制限事項について説明します。

名称	内容	サポート状況
BEL	ベル	サポートされません。
DC1	装置制御1	サポートされません。
DC3	装置制御3	サポートされません。
CAN	取り消し	オンラインの時のみサポートされます。
ESX46	用紙トレイ選択	「一時設定値に戻る」のパラメータはサポートされません。
ESX4A	メッセージ表示	サポートされません。
ESX28	イメージコマンド	サポートされません。
ESXA0	グラフィックスコマンド	サポートされません。

その他注意点

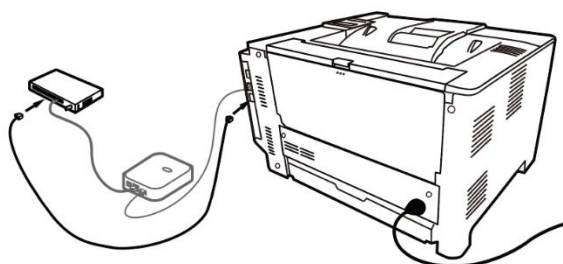
PAGESBOXで使用上、問題がある場合の回避方法について説明します。

- プリンター本体の「明るさ検知自動電源オフ」設定について (SP6420/SP6410のみ)

「明るさ検知自動電源オフ」が「自動電源オフのみ」や「自動電源オフ&オン」に設定されていた場合、夜間等にプリンターの電源が切れるとIBM-iとPAGESBOXの間のプリンターセッションが切れます。運用上の不都合がある場合は、「明るさ検知自動電源オフ」を「無効」に変更することをお勧めします。また日中でも暗い場所にプリンターが設置されているとき（物陰、廊下、人感センサーの在る場所など）は、同様にプリンターセッションが切れる場合がありますので、センサーの感度を変更するか、この機能を無効に変更することをお勧めします。詳細はプリンター本体のマニュアルを参照してください。

- PAGESBOX用プリンター・ドライバーからの印刷が遅くなる場合について

印刷データによっては印刷が遅くなる場合があります。また前述の通り従来機種との解像度の違いからイメージ品質が低下している場合があります。ご使用上、問題がある場合は、プリンター本体のイーサネットインターフェースにもイーサネットケーブルを接続し、PAGESBOXと併用してご使用ください。プリンターの設定方法・印刷方法は、プリンター本体のマニュアルを参照してください。



第8章 Q&A

本章では本製品の導入時に想定される問題と、その解決法を説明します。

文中マークの見方

確認

問題が起きた時に、最初に確認してください。

対策

問題解決のための具体的な手段です。

- 弊社ホームページ (<https://jbsol.jbcc.co.jp/>) において、FAQ及び製品に関する最新情報を公開していますので、併せてご参照ください。
- 本書及び弊社ホームページに、該当する項目がない、あるいは問題が解消されない場合は、販売店にご連絡ください。

導入時の問題

- 「設定ツール（ATPS Manager）で検索を行ったが、本製品が一覧に表示されません」
- 「ネットワーク上で本製品が認識されません」

確認1

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- プリンターの電源はONになっていますか？
- 設定内容の印刷を行い、PAGESBOXのネットワーク設定（IPアドレス、サブネット、ゲートウェイ）が、接続しているネットワーク環境と一致しているか確認してください。



設定値印刷の方法については 第1章「本製品について」を参照してください。

確認2

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- 稼動している本製品と接続イーサネットハブ（HUB）のLINK LEDが点灯していますか？点灯していない場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していないか確認してください。

確認3

一時的にWindows ファイアウォールの機能を「無効」にして設定を行ってください。

画面下のタスクバーの検索より「Windows Defender ファイアウォール」を検索

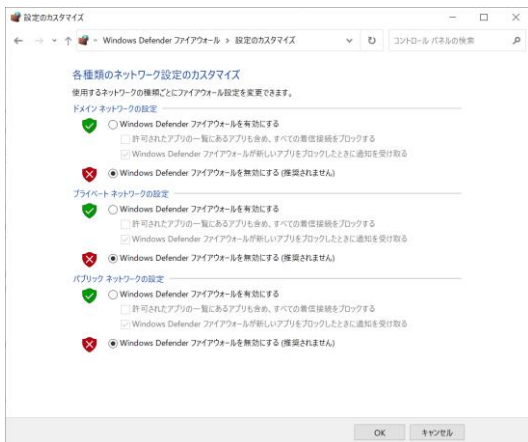
Windows10



Windows11



ファイアウォールを「無効」に設定してください。



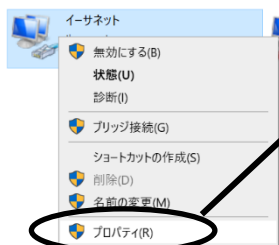
APTS Manager 設定後はWindows ファイアウォールを必ず元に戻してください。

確認4

有線LANと無線LANを同時に使用しているWindows10以降のPCで、上記方法で解決しない場合は、IPv4 ルートの自動メトリック設定を変更してください。

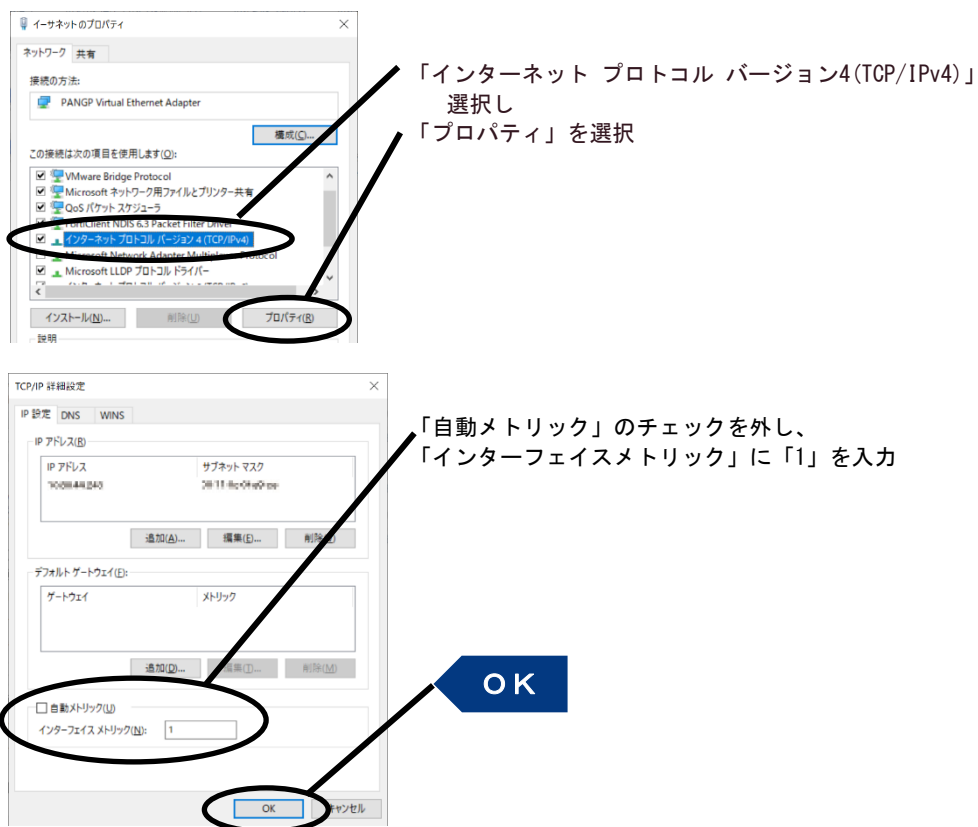
自動メトリック設定の変更

スタートを右クリック-「設定」-「ネットワークとインターネット」-「アダプターのオプションを変更する」



PAGESBOXを接続しているネットワークを右クリックし「プロパティ」を選択

確認4 (続き)



APTS Manager設定後は本設定を元に戻してください。

対策

「確認1」～「確認4」で解決しなかった場合は、本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、ネットワーク環境に合わせて再度設定を行ってください。



本製品を工場出荷時設定に戻す方法については、第1章「本製品について」を参照してください。

● 「設定値印刷を行えません」

確認1

プリンターが印刷を行う準備ができているか確認してください。（オンライン等）

確認2

プリンターのデータ受信ランプを確認してください。
点灯していれば、プリンターを一旦オフラインにし、用紙の排出処理を行ってください。

● 「IPアドレスの設定を行うと通信エラーになります」

確認1

本製品のLINK/STATUS LEDが正常に点灯しているか確認してください。

- プリンター、または本製品の電源はONになっているか確認してください。
- ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していないか確認してください。

確認2

PAGESBOX Managerを起動しているパソコン側のIPアドレスが確立されているか確認してください。

- コマンドプロンプトからPingコマンドを実行し、ご使用のパソコンおよび他のパソコンと通信ができるか確認してください。

確認3

本製品が初期化されているか確認してください。

- 本製品を工場出荷設定に戻す方法については、第1章「本製品について」を参照してください。

確認4

ネットワーク上にDHCPサーバーが存在している可能性があります。

- ルーターやサーバーが不正なIPアドレスを本製品に割り当てている可能性がありますので、ルーターやサーバーが存在しない環境（パソコン1台、HUB 1台、プリンター1台、本製品1台のローカル環境）を作成して、本製品のIPアドレス設定を行ってください。

確認5

本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内に無い可能性があります。

○ 本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内にあることを確認してください。

印刷時の問題

● 「印刷が行えません」

確認1

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

○ プリンター、または本製品の電源はON になっていますか？

確認2

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

○ 稼動している本製品と接続イーサネットハブ（HUB）のLINK LED が点灯していますか？

○ ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？

○ ネットワークケーブルは断線していませんか？

○ イーサネットハブ（HUB）のポートが故障していませんか？

確認3

テキストデータ等を出力した場合、排出コマンドが無く、印刷データが出力されないことがあります。テキストデータ等を出力しても、印刷データが出力されない場合は、PAGESBOXの緑ランプが点滅しているか確認してください。PAGESBOXの緑ランプが点滅していれば、Webブラウザで本製品のWebページを表示して、強制印刷ボタンを押してから、排出処理を行ってください。



本製品の“E0J string” や“E0J string (kanji)” に“¥f” を指定しておく、と、排出コマンドを持たないテキストデータ等を自動排出します。

Windows TCP/IP環境での問題

● 「印刷が行えません」

確認1

TCP/IPプロトコルを使用している場合、本製品に割り当てたIPアドレスに、pingコマンドを使って、応答があるか確認してください。pingコマンドによる応答がない場合、IPアドレスが正しく設定されていない可能性があります。本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、再度IPアドレスの設定を行ってください。

例) Windowsのコマンド プロンプトでpingを実行する場合

キーボードの[Win]キー+[R]キーを同時に押し「ファイル名を指定して実行」を起動し、「cmd」を入力

Ping XXX.XXX.XXX.XXX

を実行すると下記内容が表示されます。XXX.XXX.XXX.XXXは本製品のIPアドレスです。

(Pingに応答がある場合)

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time=58ms TTL=253

(Pingに応答がない場合)

Request timed out.

Request timed out.

Request timed out.

Request timed out.



本製品を工場出荷時設定に戻す方法については、本書 第1章「本製品について」を参照してください。

確認2

プリンター・ドライバーの印刷先ポートの設定ができていない可能性があります。「プリンター」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」を確認してください。

対策1

ご使用のパソコンと本製品が同一セグメント内でない場合、本製品にサブネット・マスク、ゲートウェイ・アドレスの設定を行う必要があります。PAGESBOX Manager、または本製品のWebページでサブネット・マスク、ゲートウェイ・アドレスが正しく設定されているか確認してください。

対策2

ネットワーク上にDHCPサーバーが存在していると、IPアドレスの自動割当を行うため、本製品に設定したIPアドレスが、各サーバーにより書き換えられてしまう可能性があります。各サーバーに本製品のIPアドレスを自動的に割り当てられないように、設定項目の「DHCPを使用する」のチェックボックスを外して、再度IPアドレスの設定を行ってください。

● 「印刷中にエラーが発生します」

確認

他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのデータ（高解像度の画像データ等）を印刷している時に印刷を行った場合、他の人の印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなる場合があります。その際は、再度印刷を行ってください。

● 「印刷を行うとダイヤルアップが起動します」

確認

ダイヤルアップを「キャンセル」すると、ダイヤルアップアダプターからLANアダプターへ処理が移行され、印刷が開始されます。この現象はWindowsの仕様によります。

● 「連続印刷をすると、印刷が遅くなります」

確認

LPRポートを使用して、小さな印刷データを連続して12ジョブ以上印刷した場合、12ジョブ目以降の印刷開始が遅延する場合があります。これは標準的なネットワークの規格によるものです（「対策」のNote「ネットワーク印刷の仕様」参照）。

対策

WindowsのStandard TCP/IPポートに変更してください。手順は第2章「基本設定」を参照してください。



ネットワーク印刷の仕様

RFC1179の規格では、印刷に使用されるポートを11個（ポート721～ 731）と規定しています。またRFC1122においては、4分間はポートの再利用を禁止しています。

小さな印刷データを複数のジョブ（ジョブ毎に新たなポートを使用します）に分割して印刷した場合、12個目以降のジョブは既に使用しているポートを再利用しなければならず、先に印刷したジョブの終了後4分間待たないと印刷できないこととなります。

上記対策は、この11個以外のポートも使用できるようにするものです。

● 指定した用紙サイズに印刷しない

確認

PAGESBOX、プリンターをそれぞれ正しく設定しないと、指定した用紙サイズに印刷されない場合があります。PAGESBOXの設定は、第3章を参照してください。プリンターの用紙設定は、プリンター本体のマニュアルを参照してください。

付録A PAGESBOX 仕様一覧

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ハードウェア仕様

○ 動作環境条件

温度：+5℃～+35℃ / 湿度：20 % ～ 80 %RH（但し、結露状態でないこと）

○ 保存環境条件

温度：-10℃～+50℃ / 湿度：20 % ～ 90 %RH（但し、結露状態でないこと）

○ 外形寸法・重量

外形：62 mm（幅）×86 mm（奥行）×24 mm（高さ）

重量：110 g（ACアダプター含まず）

○ 電源

電源電圧：DC 5V（ACアダプター 100V 50/60Hz）

最大消費電力：2.5 W

○ 適合規格

VCCI Class A

○ インターフェース

ネットワーク：RJ45：1ポート（10BASE-T/100BASE-TX 自動認識）

プリンター：USB Type-A：1ポート（USB 2.0 HS）

○ その他

テストスイッチ：スイッチ1個（工場出荷値設定/設定値印刷）

LED ランプ：RJ45：LINK（緑）、ACT（黄）、表面：STATUS（緑・赤）の計4個

ソフトウェア仕様

○ 対応プロトコル

● TCP/IP

Raw (9100) Port、LPD、FTP、HTTP、DHCP、DNS、TCP、UDP、IP、ICMP、

NTP、TN5250E（PAGESBOX Plusのみ）

「SNMPプロトコルを使用したプリンタースタータスの管理」には対応していません。

JBCC株式会社

<https://www.jbcc.co.jp>